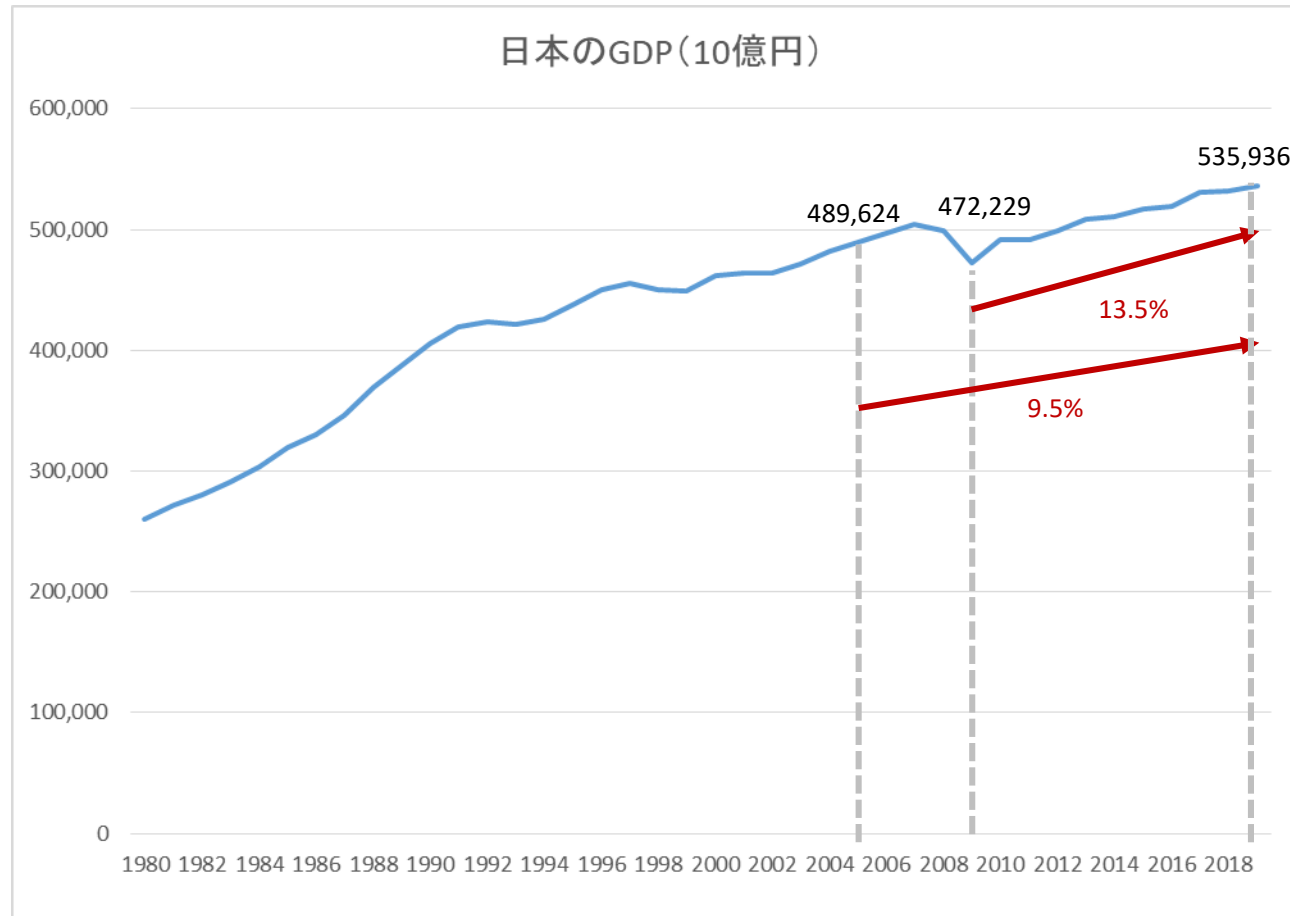


1. 現状調査・情報収集

- (1) 日本の食品製造業の産業特性と生産性の変化
- (2) 欧州の食品製造業の産業特性と生産性の変化
- (3) 業種別、国別の代表ブランド・企業のシェア

日本全体のGDPの推移

- 2019年の日本全体のGDPは535.9兆円
- 2009年に、リーマン危機の影響で472.2兆円に落ち込んだが、その後の9か年で13.5%増加
- 2005年～2018年の14年間に於いて9.5%増



資料: International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, October 2020より、みずほ情報総研作成

日本の食品製造業の産業特性

- 2005年～2018年の14年間に於いて、野菜漬物、しょう油・食用アミノ酸製造業といった伝統食品製造業の付加価値額の減少が著しい。

	食品製造業全体	野菜缶詰・果実缶詰・ 農産保存食料品製造業	野菜漬物製造業	味噌製造業	しょう油・食用アミノ酸 製造業	調味料製造業
事業所数	▲29%	▲17%	▲39%	▲32%	▲35%	▲18%
従業員数	+4%	▲9%	▲28%	▲28%	▲22%	▲3%
原材料使用額等	+37%	+32%	+11%	+10%	▲3%	+31%
製造品出荷額等	+39%	+15%	▲6%	+0%	▲15%	+12%
付加価値額	+19%	▲12%	▲25%	▲8%	▲24%	▲6%
有形固定資産額	+29%	+1%	▲3%	▲12%	▲23%	+3%

資料：平成26年工業統計表「産業編」データ（経済産業省大臣官房調査統計グループ）より、みずほ情報総研作成

日本の食品製造業の産業特性

- 冷凍調理食品製造業では、製造品出荷額、付加価値額が大幅に増加

	パン製造業	ビスケット類・干菓子製造業	めん類製造業	豆腐・油揚げ製造業	冷凍調理食品製造業	そう(惣)菜製造業
事業所数	▲32%	▲30%	▲46%	▲59%	+7%	▲27%
従業員数	▲10%	+9%	▲10%	▲33%	+23%	+19%
原材料使用額等	+44%	+39%	+18%	+25%	+62%	+51%
製造品出荷額等	+34%	+42%	+11%	+2%	+63%	+47%
付加価値額	+23%	+38%	▲1%	▲18%	+60%	+38%
有形固定資産額	▲4%	+104%	+15%	+16%	+43%	+54%

資料：平成26年工業統計表「産業編」データ（経済産業省大臣官房調査統計グループ）より、みずほ情報総研作成

日本の食品製造業の産業特性

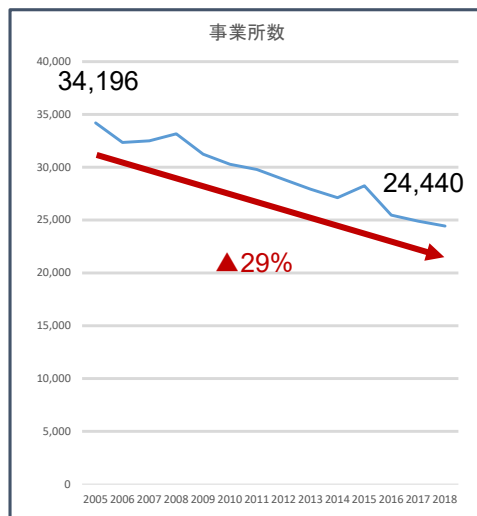
- レトルト食品製造業では全てのデータが増加。特に、付加価値額が大幅に伸長

	清涼飲料製造業	茶・コーヒー製造業	すし・弁当・調理パン 製造業	レトルト食品製造業		
事業所数	▲3%	▲29%	▲27%	+20%		
従業員数	+13%	+7%	+19%	+13%		
原材料使用額等	+37%	+12%	+39%	+20%		
製造品出荷額等	+27%	+5%	+42%	+37%		
付加価値額	+14%	▲15%	+41%	+64%		
有形固定資産額	+26%	+31%	+64%	+26%		

資料：平成26年工業統計表「産業編」データ（経済産業省大臣官房調査統計グループ）より、みずほ情報総研作成

産業特性 食品製造業(全体)

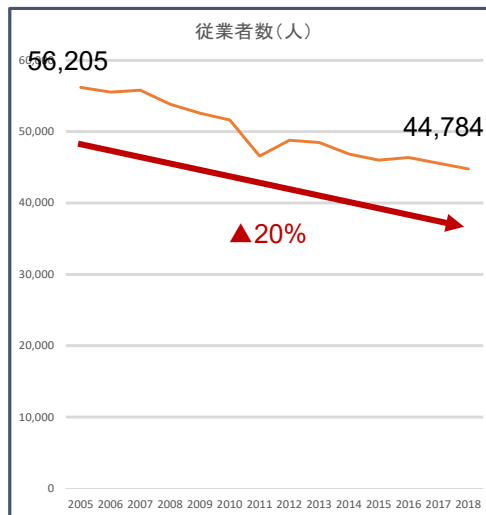
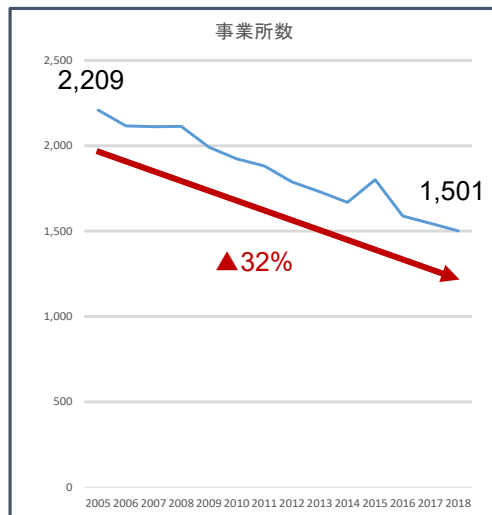
- この14年間で、事業所数は29%減少したが、従業員数は4%増加。全体として規模拡大の傾向にある。また、原材料使用額の37%上昇に伴って製造品出荷額等は31%増加。設備投資を表す有形固定資産額は29%増加。付加価値額は19%増となった



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業

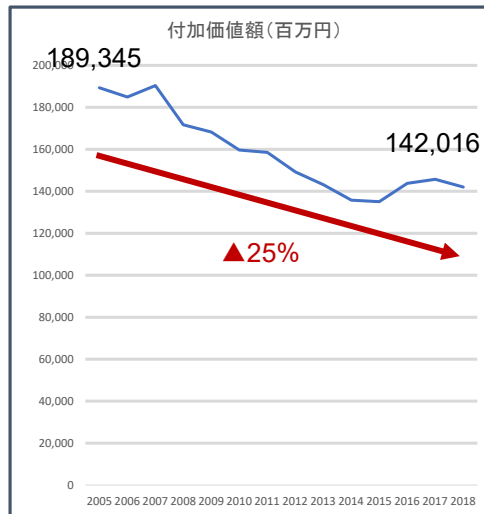
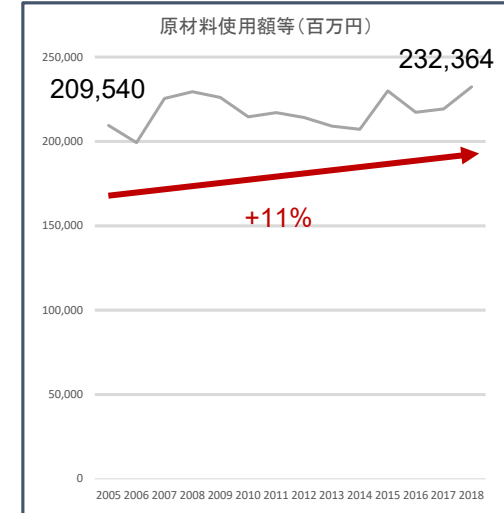
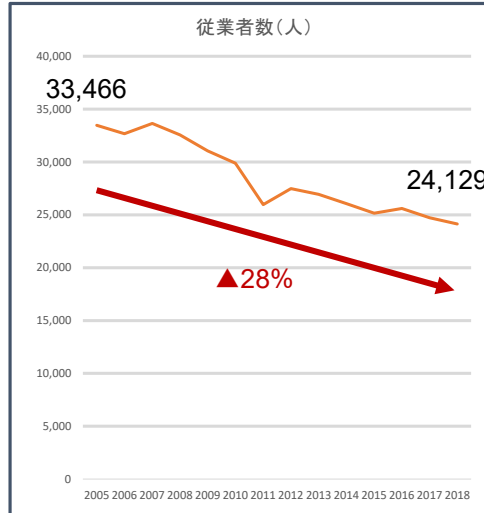
- この14年間で、事業所数32%減、従業員数20%減、付加価値額19%減と減少傾向は止まっていない。一方で、原材料使用額は22%増加
- 事業所数や従業員数の減少に対して、製造品出荷額は増加。急速に集約化が進行していることが伺える



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 野菜漬物製造業(缶詰・瓶詰・つぼ詰を除く)

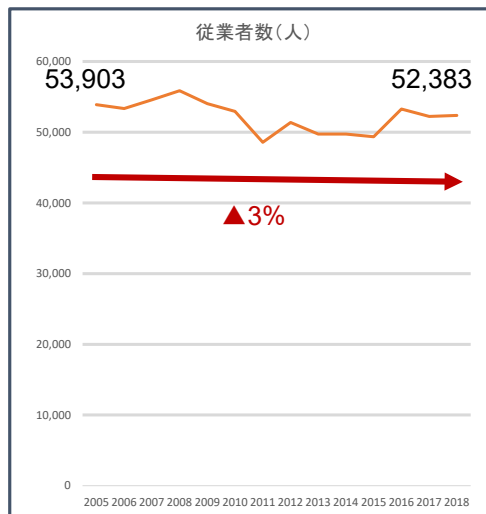
- この14年間で、事業所数39%減、従業員数28%減、付加価値額25%減。原材料使用額のみ11%増加
- 製造品出荷額、付加価値額ともに減少していることから、新たな成長戦略が必要



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 調味料製造業

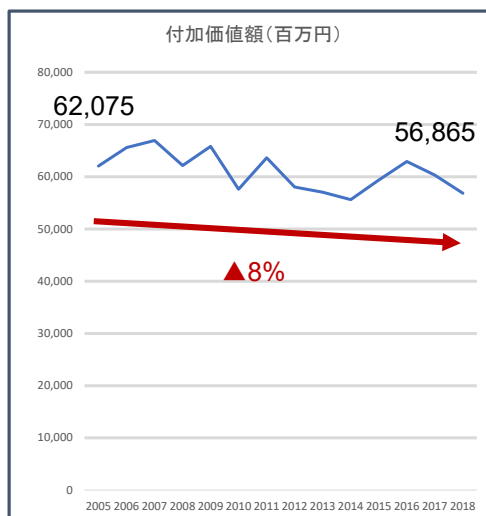
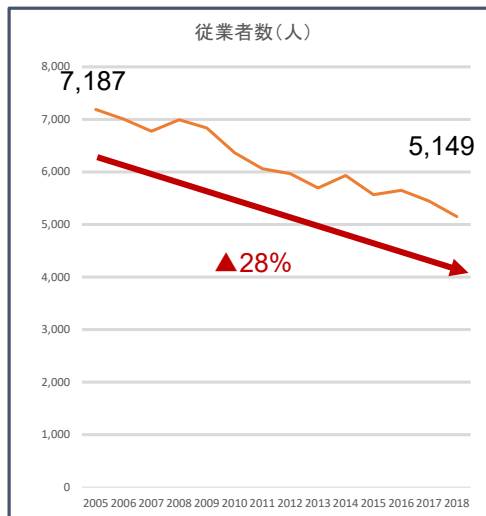
- この14年間で、事業所数18%減したが従業員数は3%減にとどまる。付加価値額は6%減だが近年は持ち直している。
- 原材料使用額が31%と大幅に増加しており、利益に影響していることが伺える



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 味そ製造業

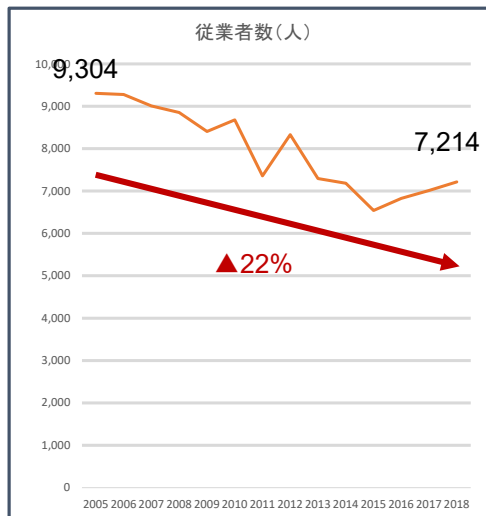
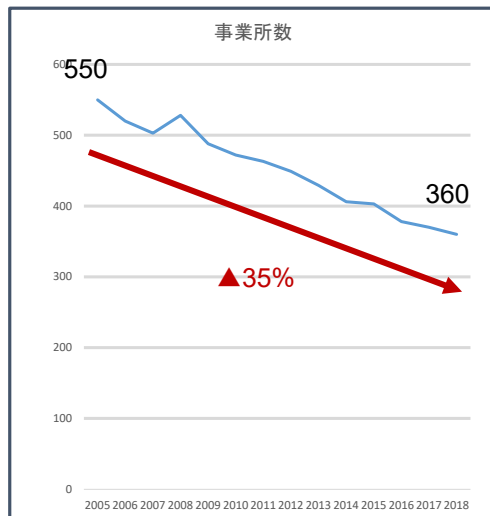
- この14年間で、事業所数32%減、従業員数28%減、付加価値額8%減と、縮小傾向が続いている。
- 一方で、原材料使用額のみ10%増加



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 しょう油・食用アミノ酸製造業

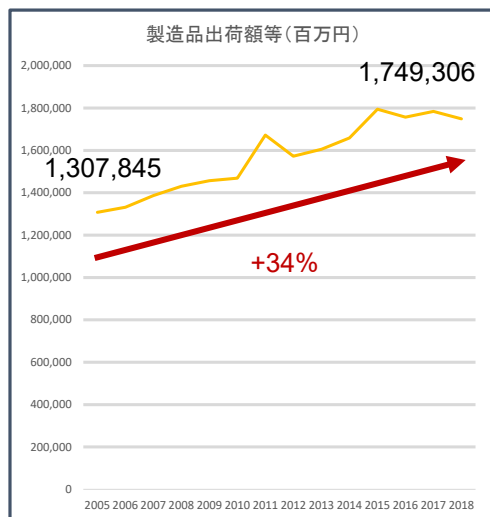
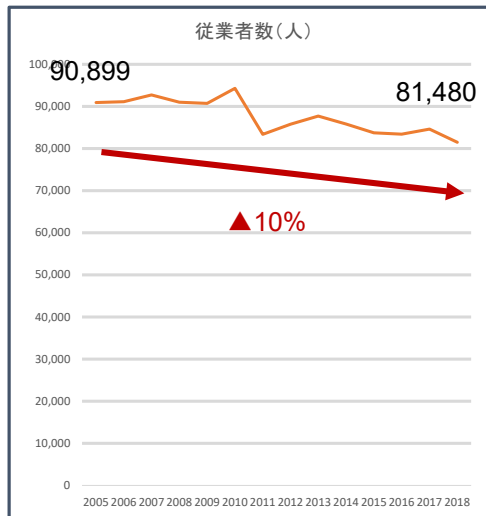
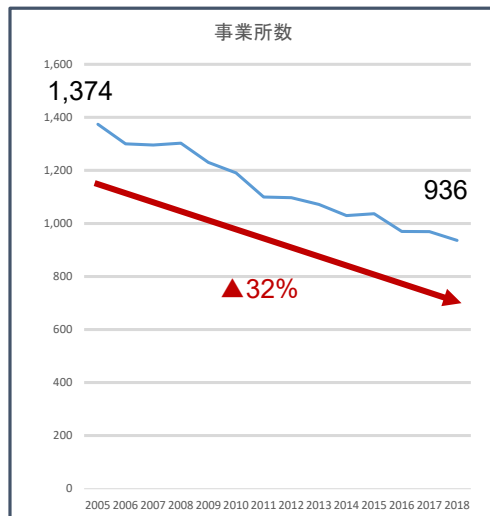
- この14年間で、事業所数35%減、従業員数22%減、付加価値額24%減と縮小傾向が続いていたが、2018年にやや持ち直しを見せている
- 原材料使用額も変動幅は大きいものの、3%減にとどまっている



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 パン製造業

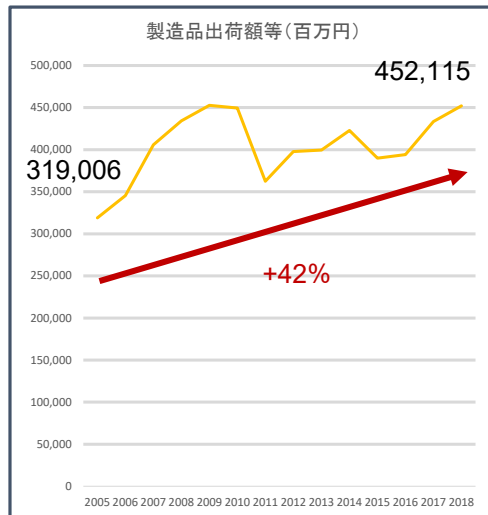
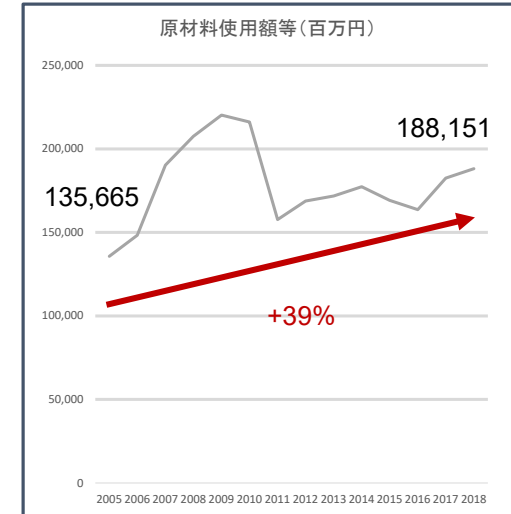
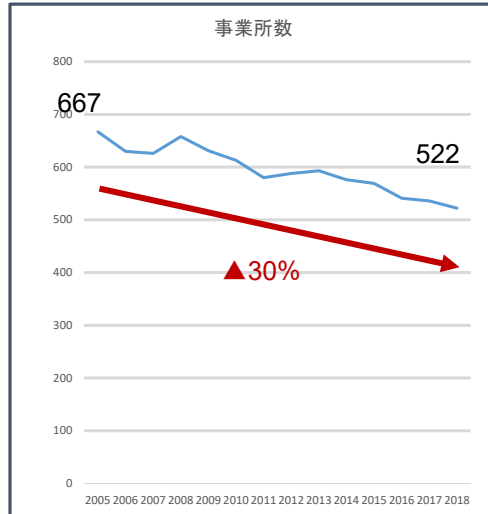
- この14年間で、事業所数32%減、従業員数10%減だが、付加価値額23%増、製造品出荷額34%と伸びをみせている
- 但し、原材料使用額は44%も増加



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

産業特性 ビスケット類・干菓子製造業

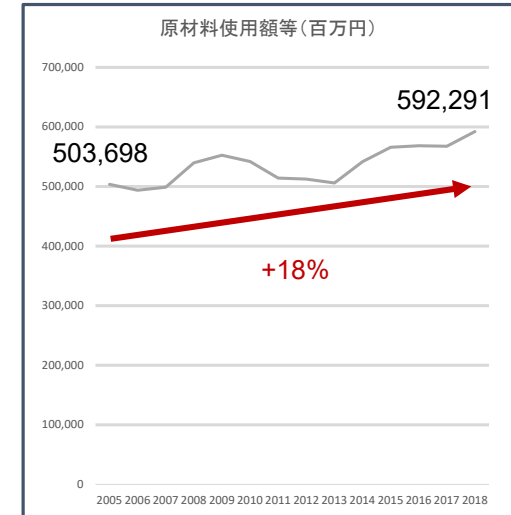
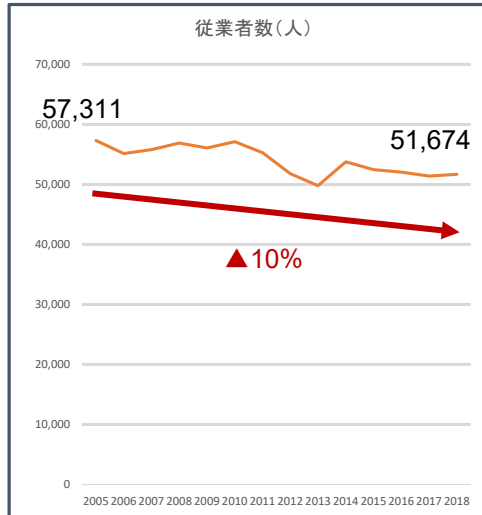
- この14年間で、事業所数は30%減に対し、従業員数9%増。製造品出荷額39%、付加価値額42%増と大幅な伸びをみせている
- 原材料使用額は39%増加、有形固定資産額も104%増と拡大傾向がみられる



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 めん類製造業

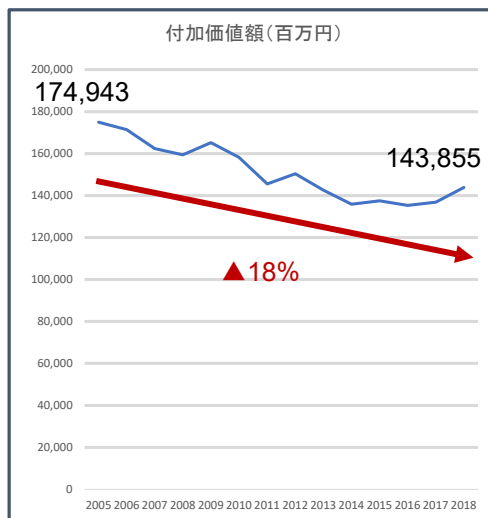
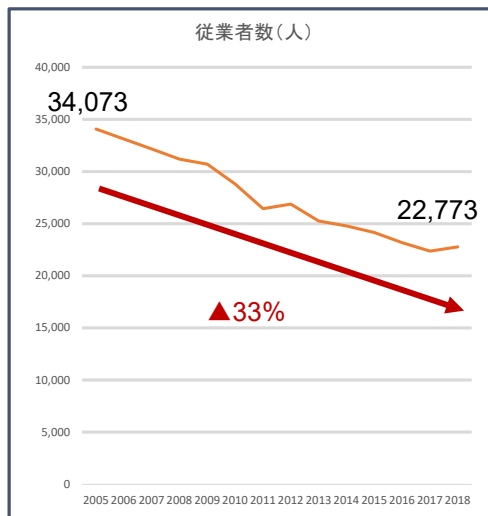
- この14年間で、事業所数は46%減、従業員数10%減。付加価値額1%減となっている
- 原材料使用額は18%増加、製造品出荷額11%増



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 豆腐・油揚げ製造業

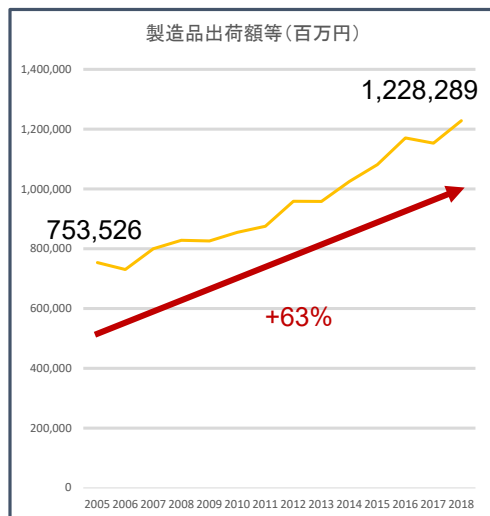
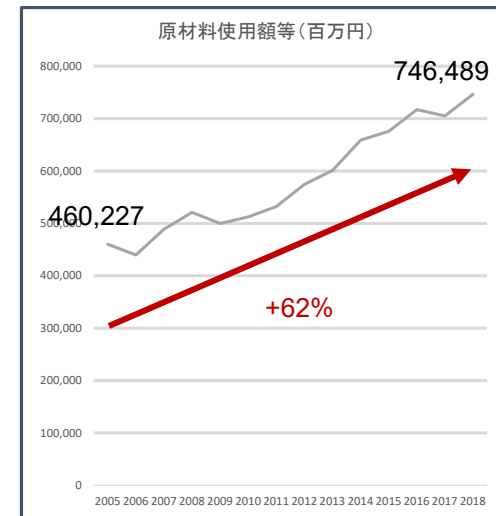
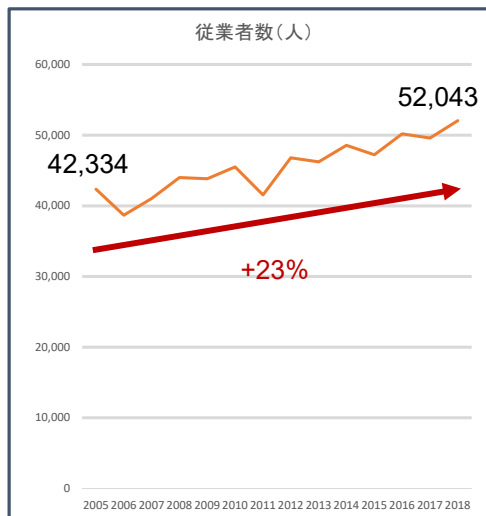
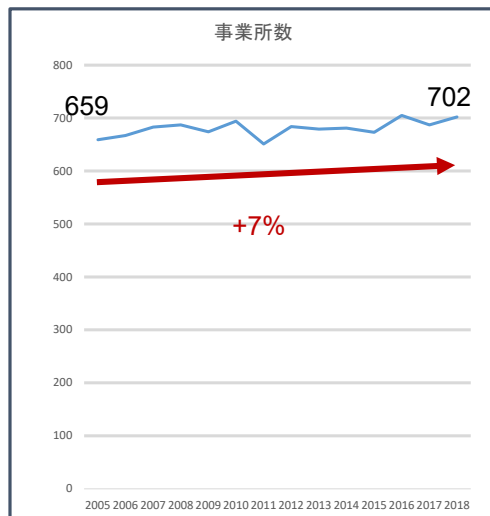
- この14年間で、事業所数は59%減、従業員数33%減。付加価値額18%減と全体として減少傾向が続く
- 一方で、原材料使用額は25%増加、有形固定資産額16%増



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 冷凍調理食品製造業

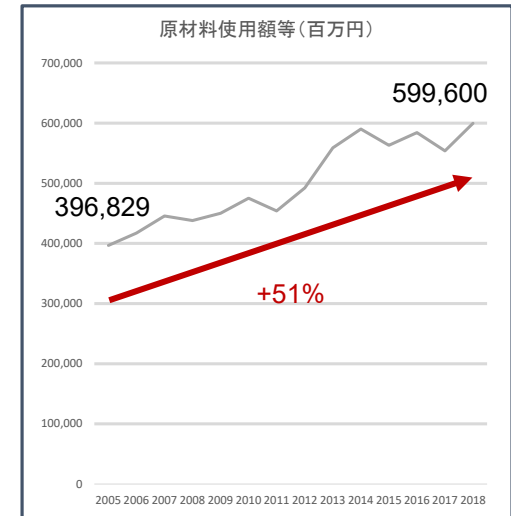
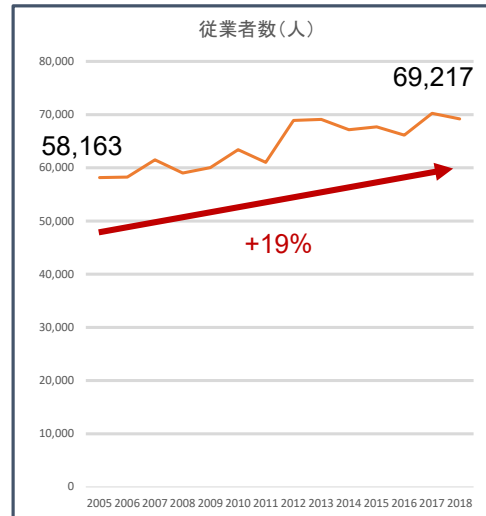
- この14年間で、事業所数は7%増、従業員数23%増、原材料使用額は62%増、製造品出荷額63%増、付加価値額60%増、有形固定資産額43%増加と全ての要素が増加



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

産業特性 そう(惣)菜製造業

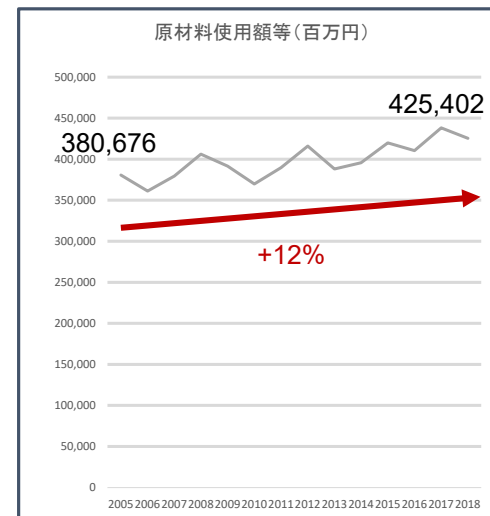
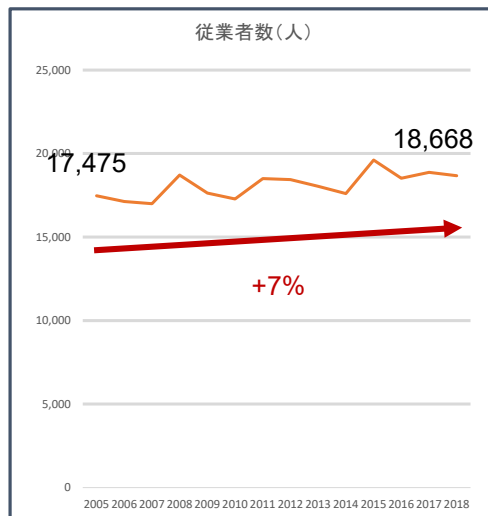
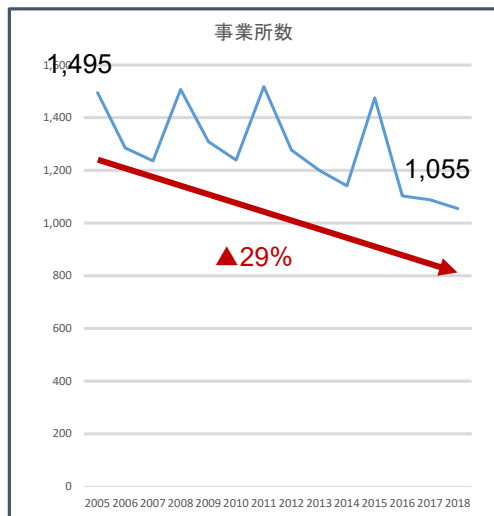
- この14年間で、事業所数は27%減であったが、従業員数19%増、原材料使用額は51%増、製造品出荷額43%増、付加価値額38%増、有形固定資産額54%増加と他の要素が増加



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

産業特性 茶・コーヒー製造業

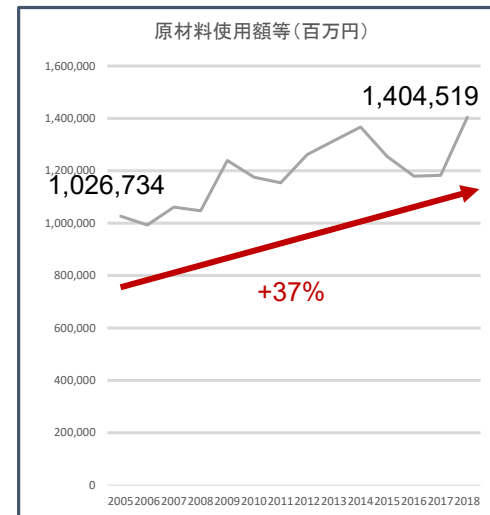
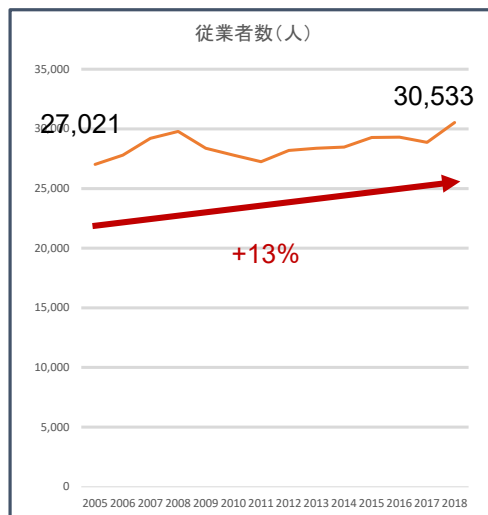
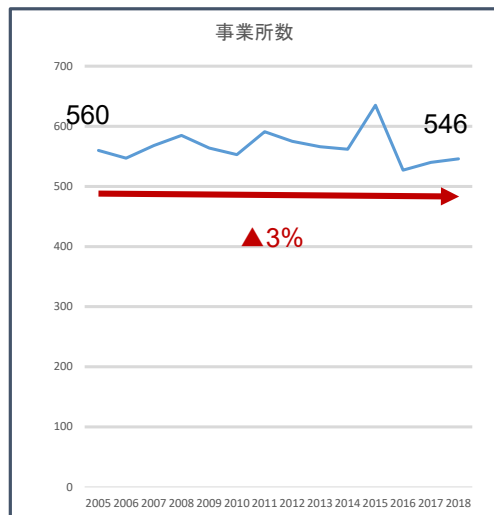
- この14年間で、事業所数29%減、付加価値額15%減であったが、従業員数7%増、原材料使用額は12%増、製造品出荷額5%増、有形固定資産額31%増加



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 清涼飲料製造業

- この14年間で、事業所数3%減だが、従業員数13%増、原材料使用額37%増、製造品出荷額27%増、付加価値額14%増、有形固定資産額26%増加



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 すし・弁当・調理パン製造業

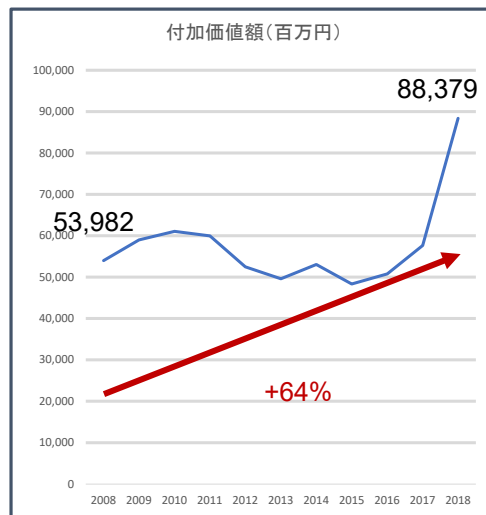
- この14年間で、事業所数27%減だが、他の要素はいずれも増加
- 従業員数19%増、原材料使用額39%増、製造品出荷額42%増、付加価値額41%増、有形固定資産額64%増加



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

産業特性 レトルト食品製造業

- この14年間で、事業所数は20%増、従業員数13%増、原材料使用額20%増、製造品出荷額37%増、付加価値額64%増、有形固定資産額26%増と、全ての要素で増加傾向がみられる



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

日本の食品製造業の生産性

- 味そ製造業では、労働生産性、労働装備率、資本生産性のいずれもプラス

	食品製造業全体	野菜缶詰・果実缶詰・ 農産保存食料品製造業	野菜漬物製造業	味そ製造業	しょう油・食用アミノ酸 製造業	調味料製造業
事業所あたりの 従業員数	+45%	+10%	+18%	+5%	+18%	+19%
従業員1人当 たりの原材料使用 額等	+32%	+45%	+54%	+53%	+26%	+35%
従業員1人当 たりの製造品出荷 額等	+27%	+27%	+31%	+40%	+10%	+15%
従業員1人当 たりの付加価値額 (労働生産性)	+15%	▲3%	+4%	+28%	▲2%	▲3%
従業員1人当 たりの有形固定資 産額 (労働装備率)	+25%	+22%	+35%	+23%	+0%	+6%
付加価値額/有 形固定資産額 (資本生産性)	▲8%	▲13%	▲23%	+4%	▲2%	▲9%

資料：平成26年工業統計表「産業編」データ（経済産業省大臣官房調査統計グループ）より、みずほ情報総研作成

日本の食品製造業の生産性

- ビスケット類・干菓子製造業と豆腐・油揚げ製造業では、資本生産性が大幅に減少。前者は設備投資額が増加し、後者は付加価値額が減少

	パン製造業	ビスケット類・干菓子製造業	めん類製造業	豆腐・油揚げ製造業	冷凍調理食品製造業	そう(惣)菜製造業
事業所あたりの従業員数	+32%	+39%	+66%	+64%	+15%	+62%
従業員1人当たりの原材料使用額等	+61%	+27%	+30%	+87%	+32%	+27%
従業員1人当たりの製造品出荷額等	+49%	+30%	+23%	+53%	+33%	+23%
従業員1人当たりの付加価値額(労働生産性)	+38%	+26%	+10%	+23%	+30%	+16%
従業員1人当たりの有形固定資産額(労働装備率)	+7%	+87%	+27%	+73%	+16%	+29%
付加価値額/有形固定資産額(資本生産性)	+29%	▲33%	▲14%	▲29%	+12%	▲10%

資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

日本の食品製造業の生産性

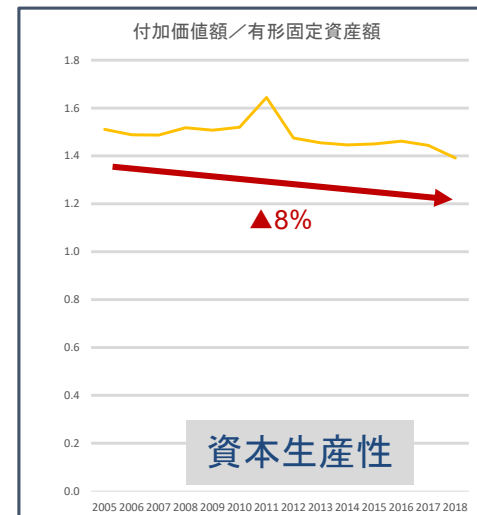
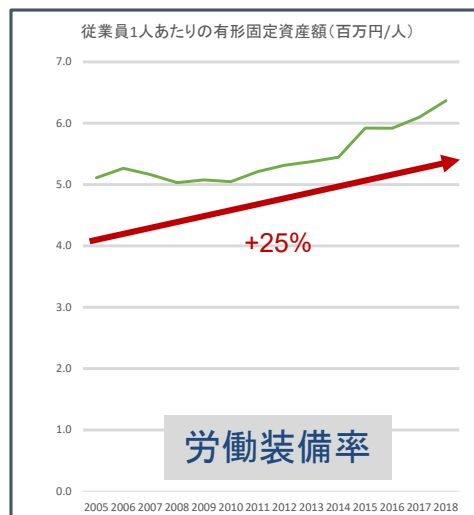
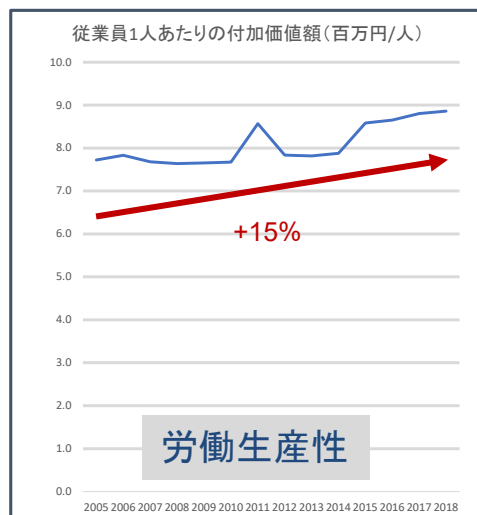
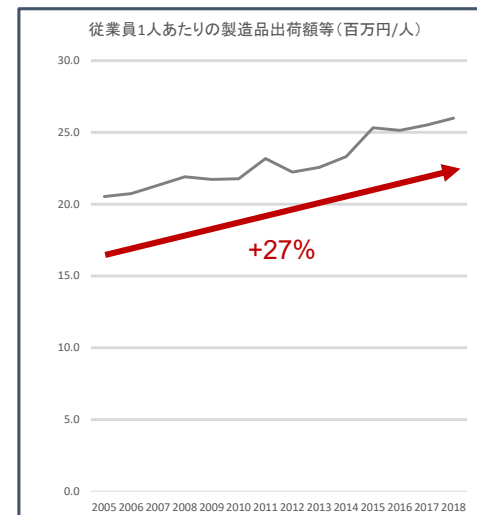
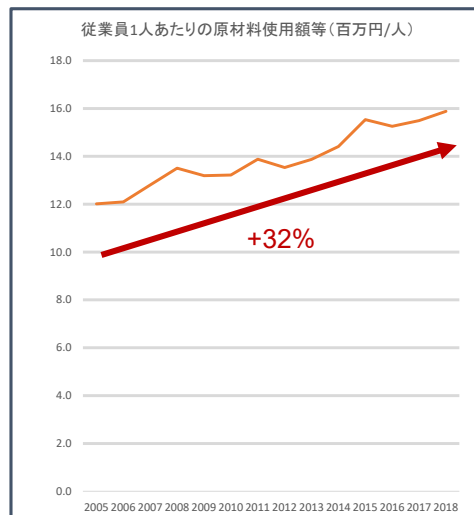
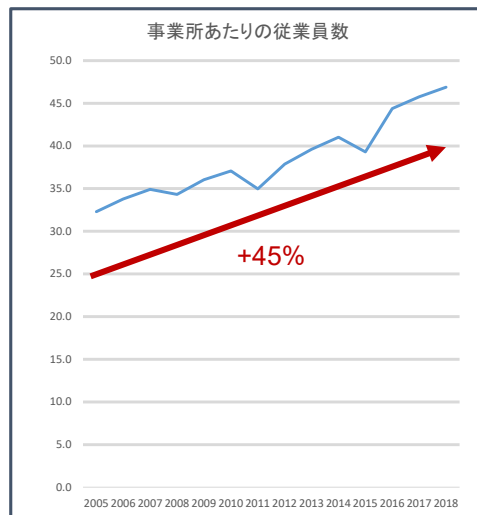
- 茶・コーヒー製造業では、付加価値額の減少と有形固定資産額の増加の相乗効果で、資本生産性が低下している

	清涼飲料製造業	茶・コーヒー製造業	すし・弁当・調理パン製造業	レトルト食品製造業		
事業所あたりの従業員数	+16%	+51%	+16%	▲6%		
従業員1人当たりの原材料使用額等	+21%	+5%	+21%	+6%		
従業員1人当たりの製造品出荷額等	+12%	▲1%	+12%	+22%		
従業員1人当たりの付加価値額（労働生産性）	+1%	▲20%	+1%	+45%		
従業員1人当たりの有形固定資産額（労働装備率）	+11%	+22%	+11%	+12%		
付加価値額/有形固定資産額（資本生産性）	▲10%	▲35%	▲10%	+30%		

資料：平成26年工業統計表「産業編」データ（経済産業省大臣官房調査統計グループ）より、みずほ情報総研作成

生産性 食品製造業(全体)

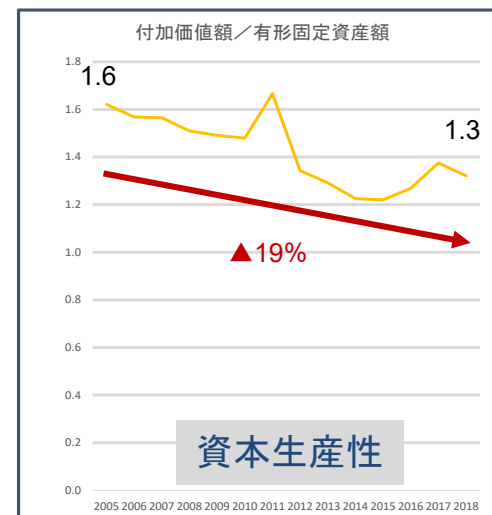
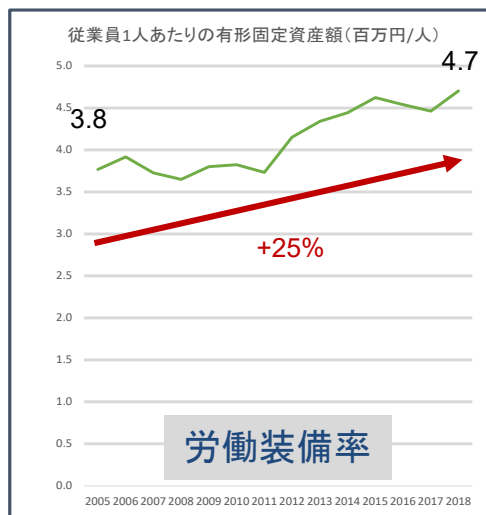
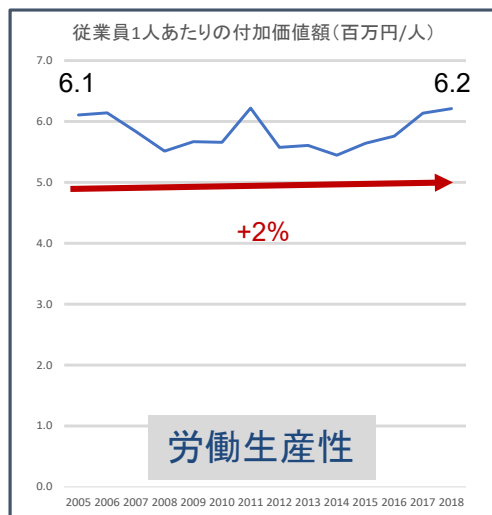
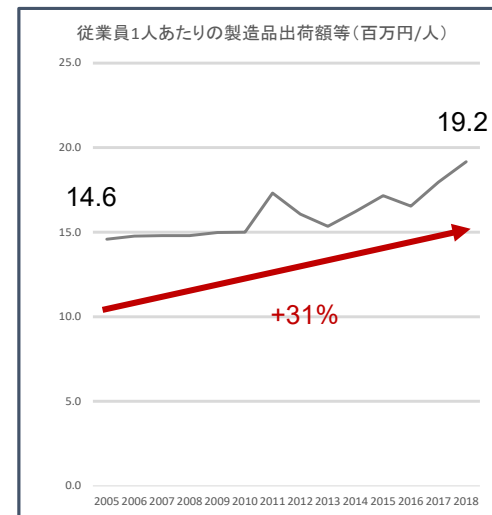
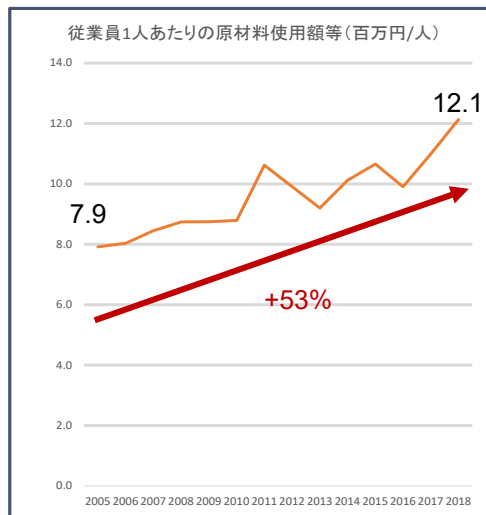
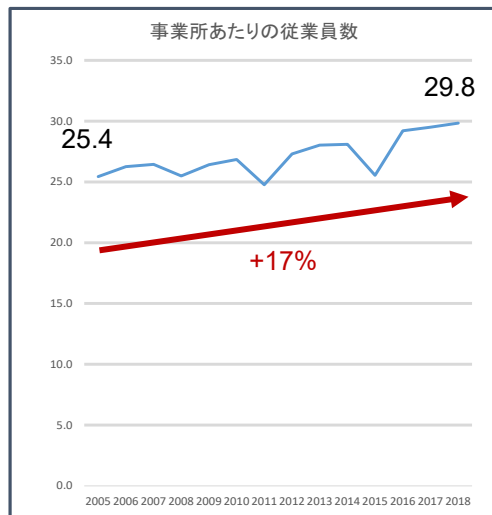
- 2005年～2018年の間に、食品製造業全体では集約化が進み、労働生産性は15%増、労働装備率は25%増となった。一方で、資本生産性は8%減少しており、設備投資による付加価値創出効果が表れているとはいえない



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業

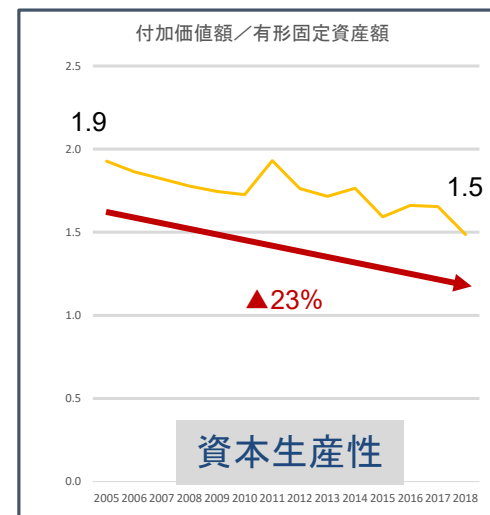
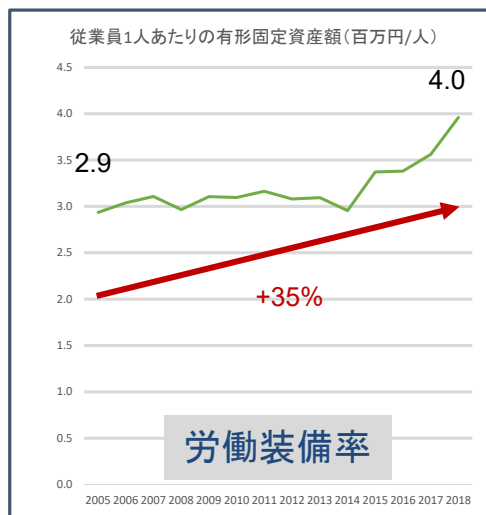
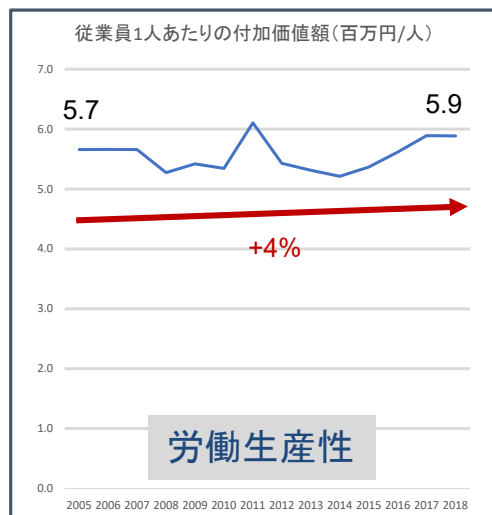
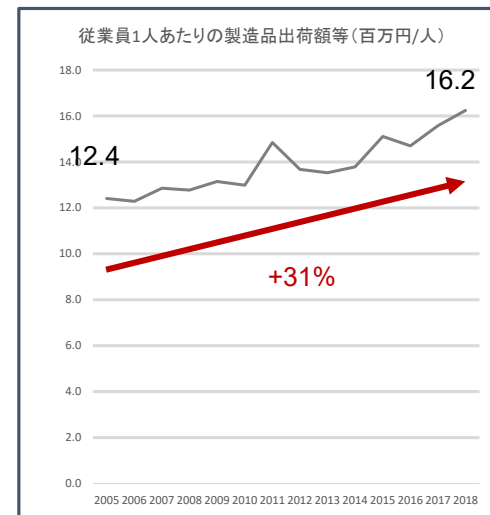
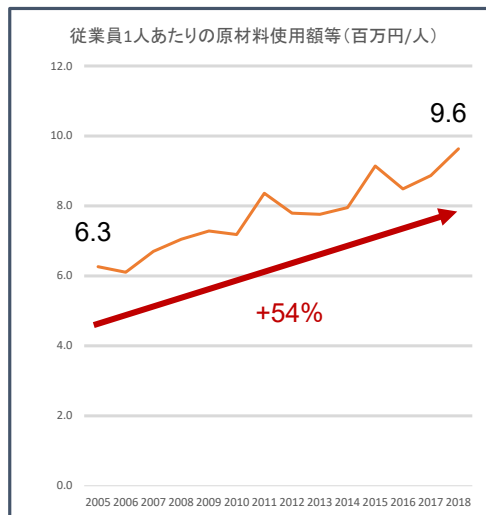
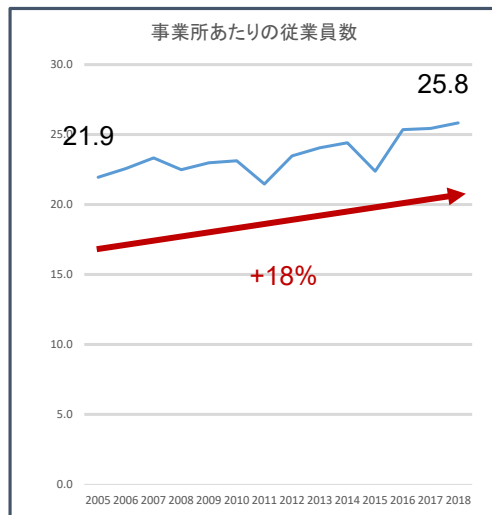
- 2005年～2018年の間に、野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業では集約化が進み、労働生産性は4%増、労働装備率は25%増となった。一方で、資本生産性は19%減少しており、設備投資による付加価値創出効果が表れているとはいえない



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 野菜漬物製造業(缶詰・瓶詰・つぼ詰を除く)

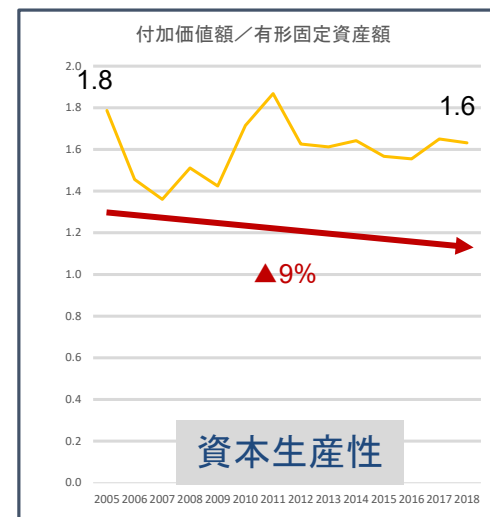
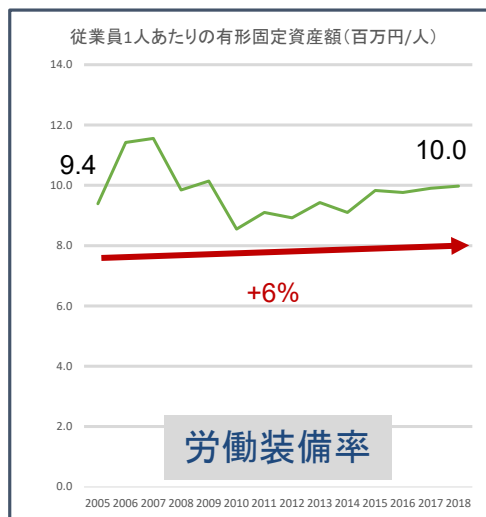
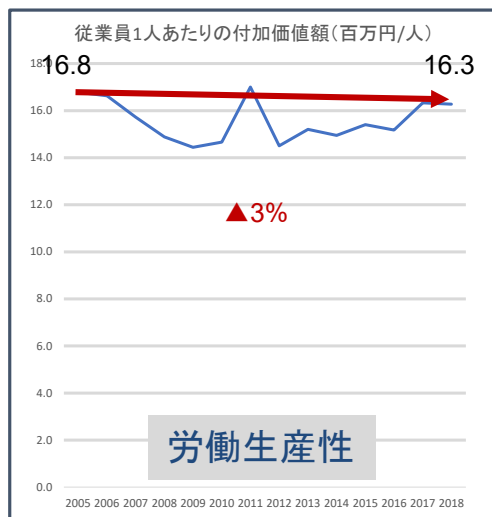
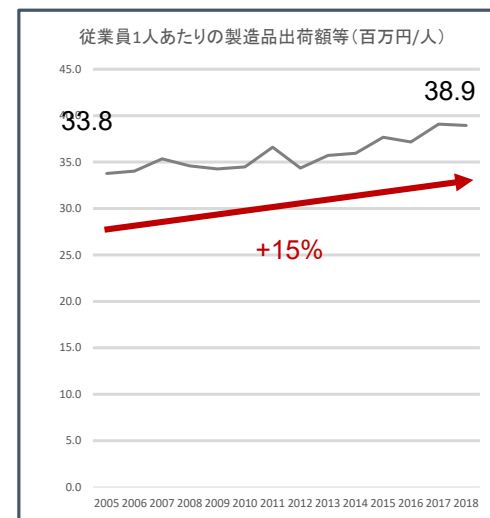
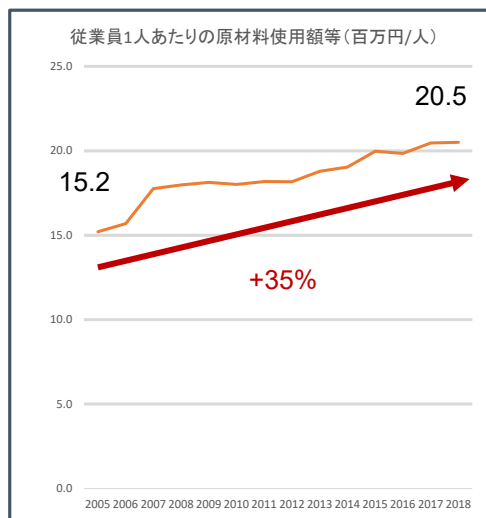
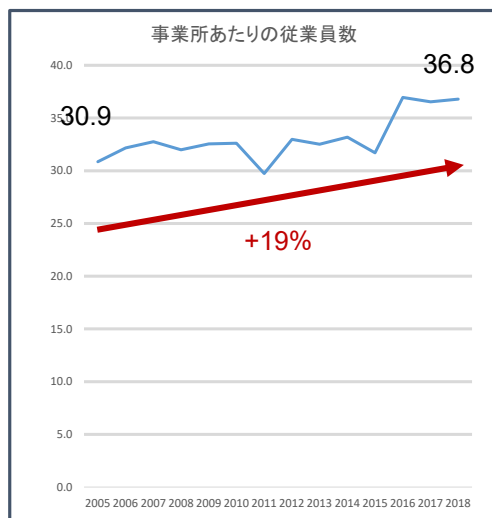
- 2005年～2018年の間に、野菜漬物製造業では集約化が進み、労働生産性は4%増、労働装備率は35%増となった。一方で、資本生産性は23%減少しており、設備投資による付加価値創出効果が表れているとはいえない



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 調味料製造業

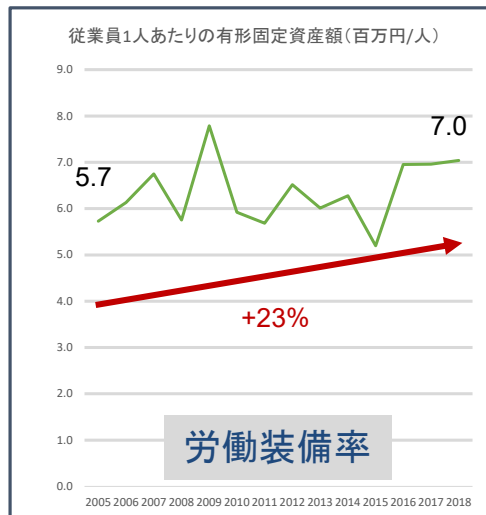
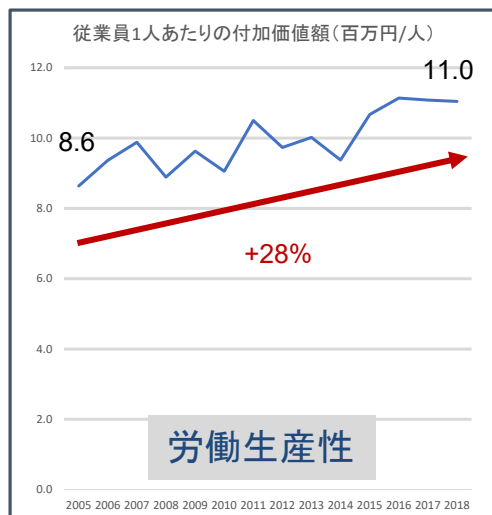
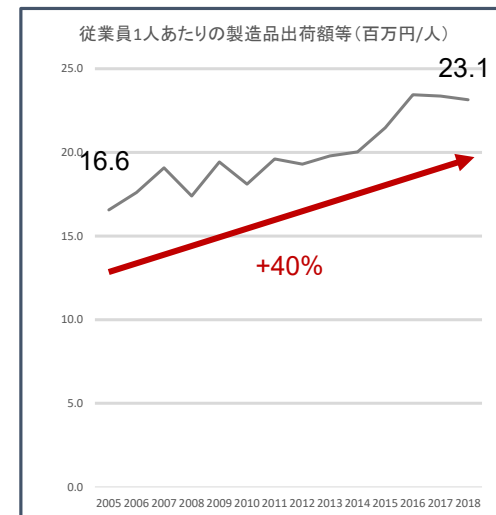
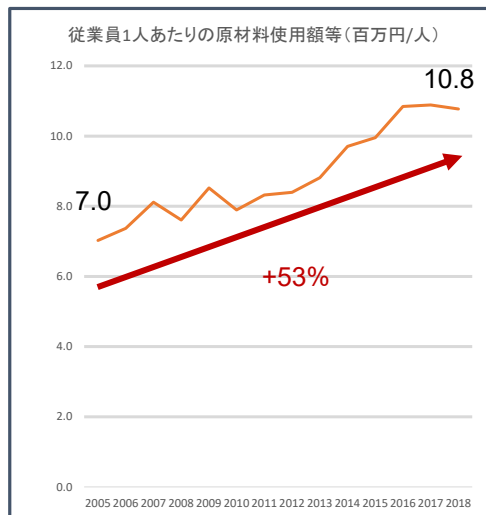
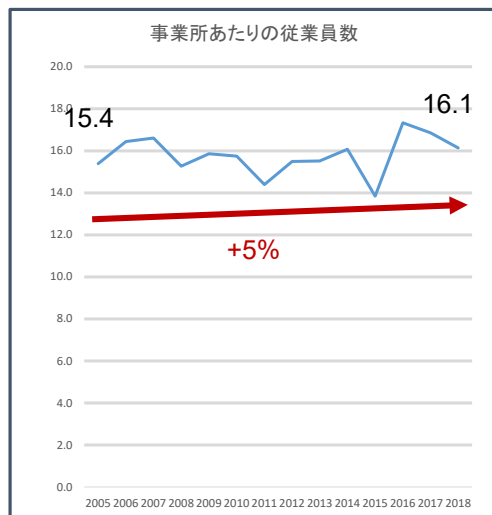
- 2005年～2018年の間に、調味料製造業では集約化が進み、労働生産性は3%減、労働装備率は6%増、資本生産性は9%減少と、他業種と比較すると、横ばい傾向



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 味そ製造業

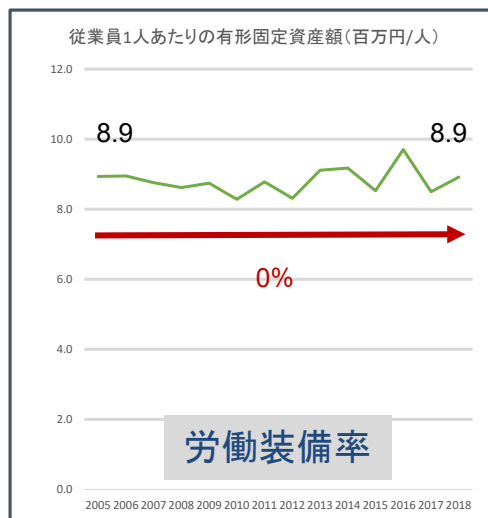
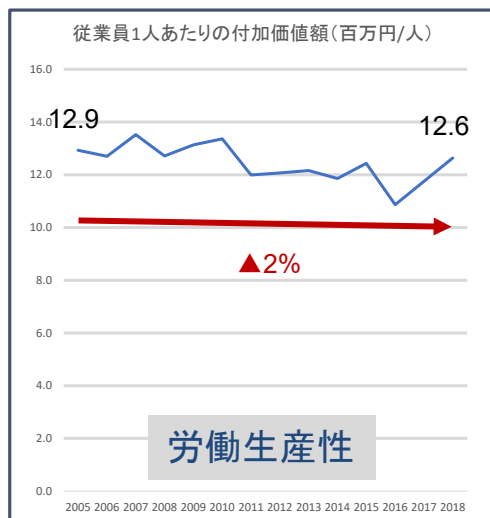
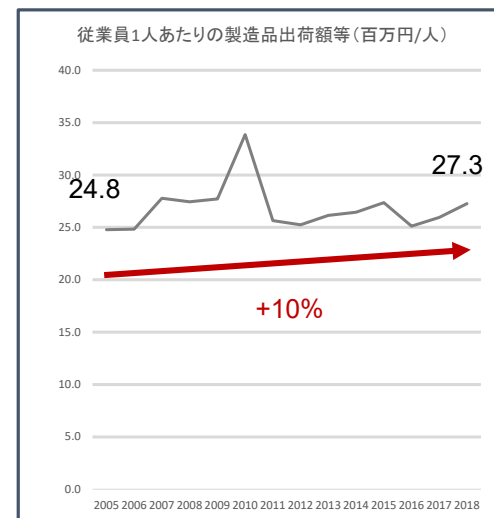
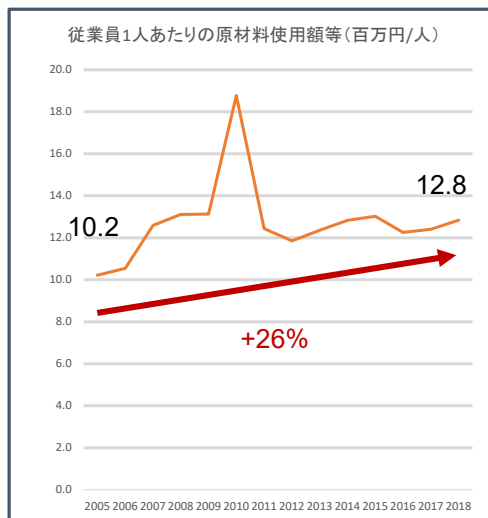
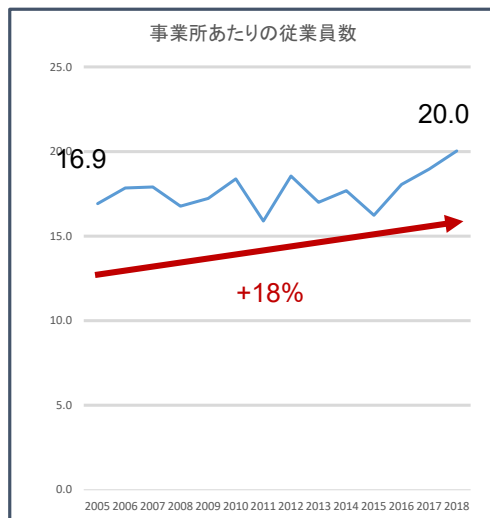
- 2005年～2018年の間に、味そ製造業では集約化が進み、労働生産性は28%増、労働装備率は23%増、資本生産性は4%増。他産業と比較すると、年変動は激しいものの、生産性は向上している



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 しょう油・食用アミノ酸製造業

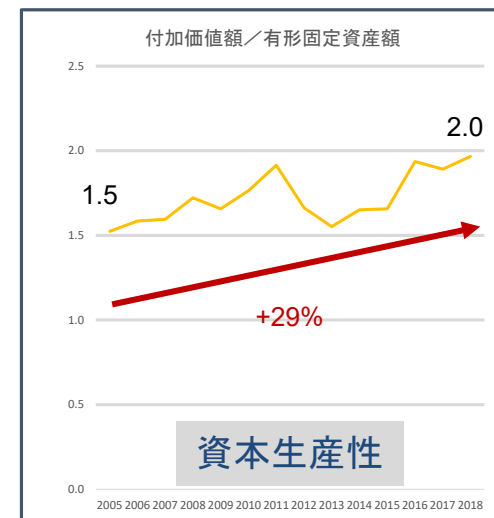
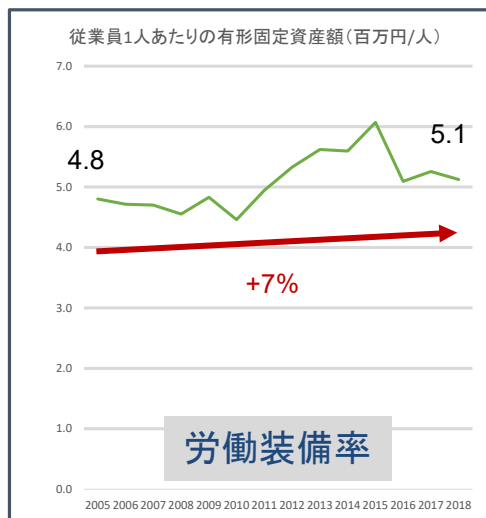
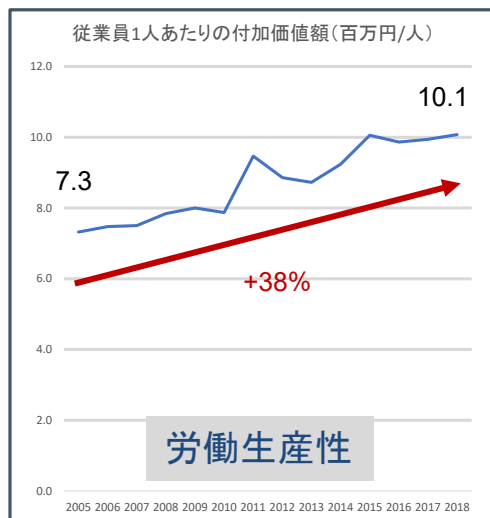
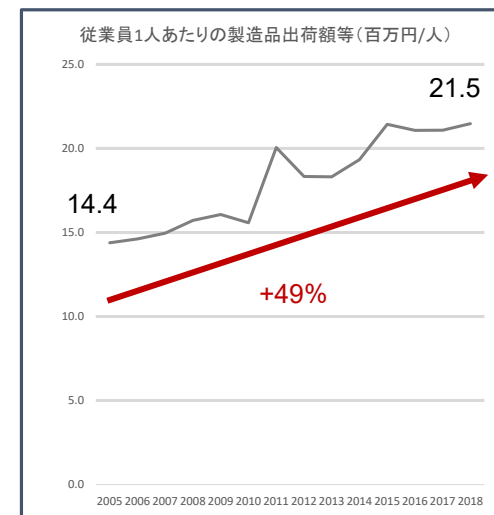
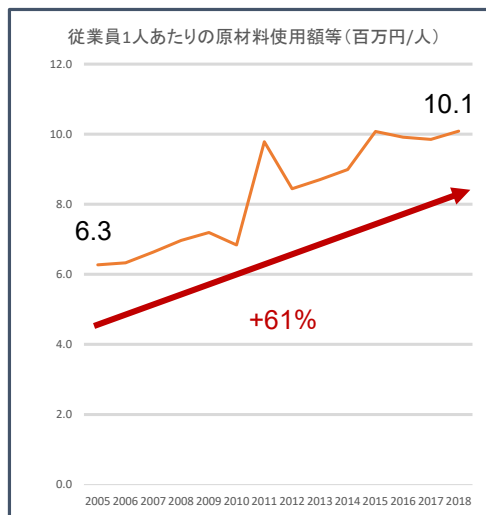
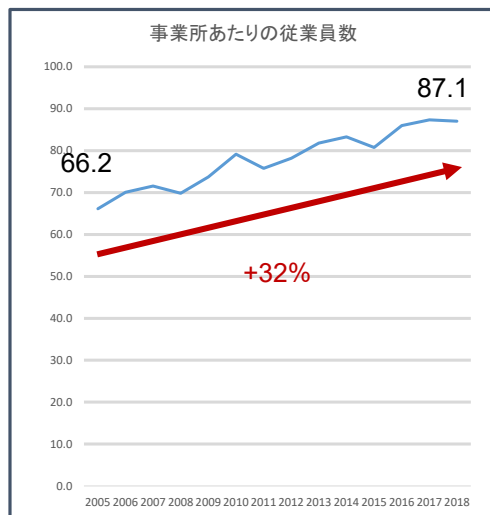
- 2005年～2018年の間に、しょう油・食用アミノ酸製造業では集約化が進み、労働生産性は2%減、労働装備率は0%、資本生産性は2%減。他産業と比較すると、横ばい傾向で安定している



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 パン製造業

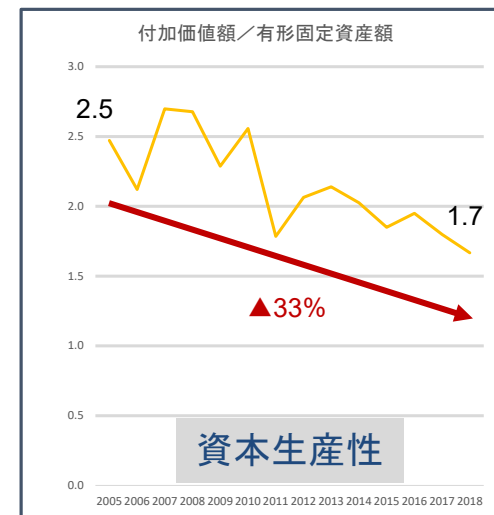
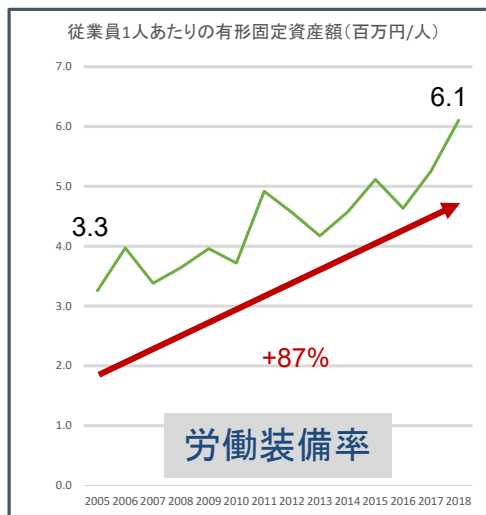
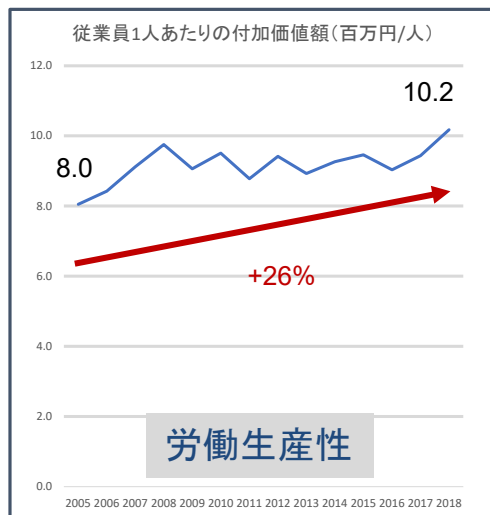
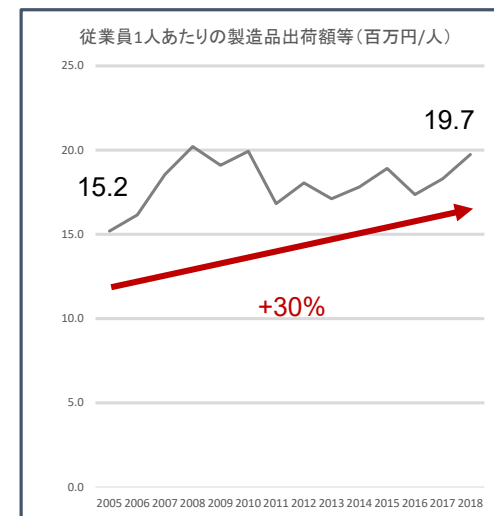
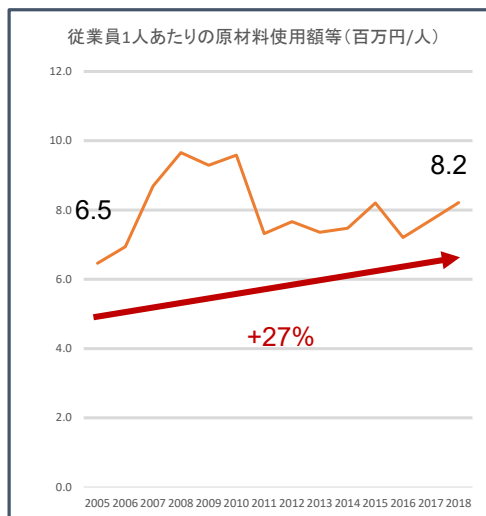
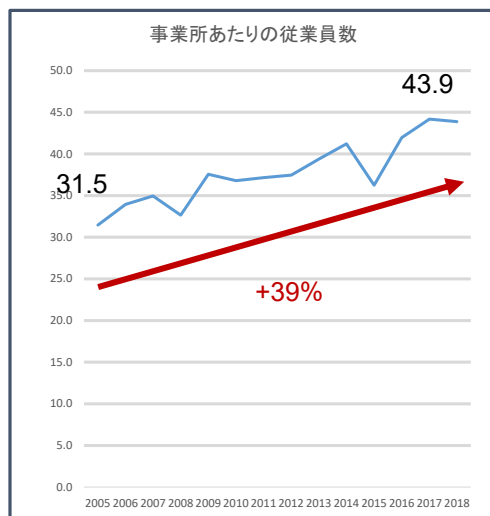
- 2005年～2018年の間に、パン製造業では集約化が進み、労働生産性は38%減、労働装備率は7%増、資本生産性は29%増。生産性は向上している



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 ビスケット類・干菓子製造業

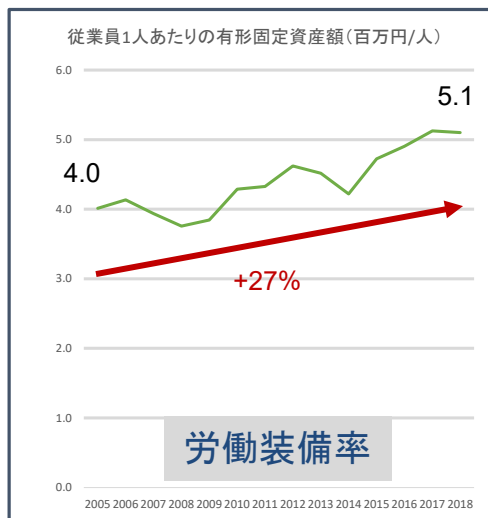
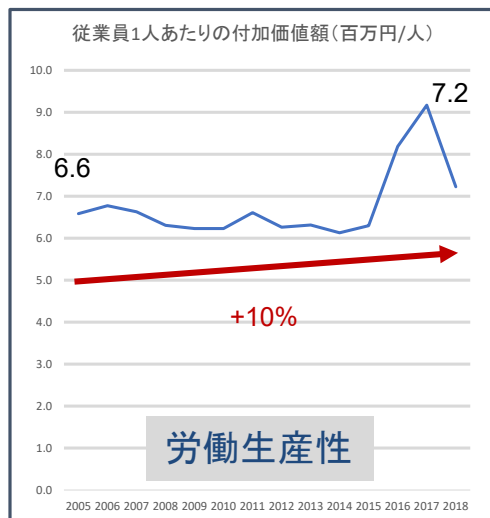
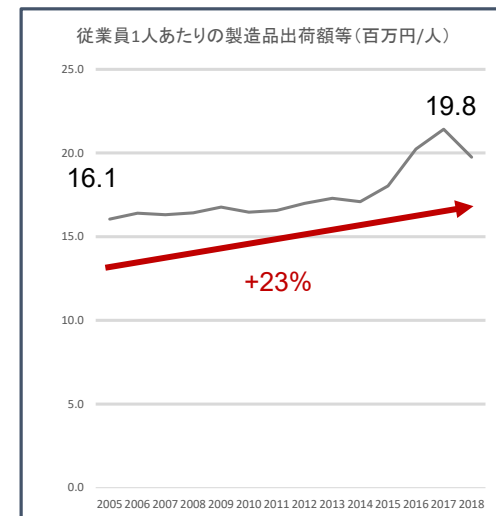
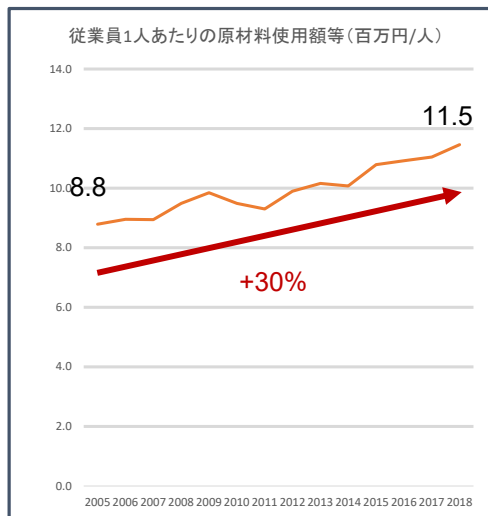
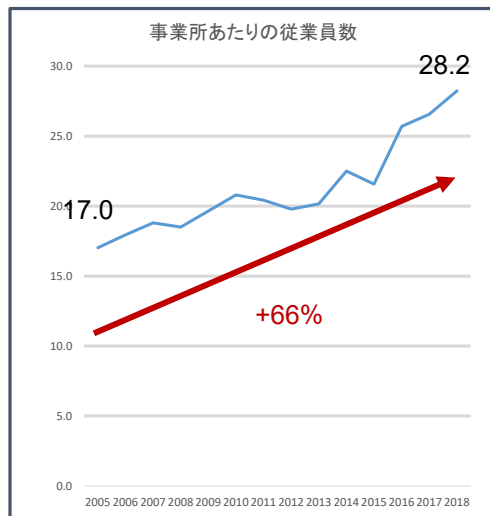
- 2005年～2018年の間に、ビスケット類・干菓子製造業では集約化が進み、労働生産性は26%減、労働装備率は87%増。一方で、資本生産性は33%減と設備投資による付加価値創出効果が表れていない



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 めん類製造業

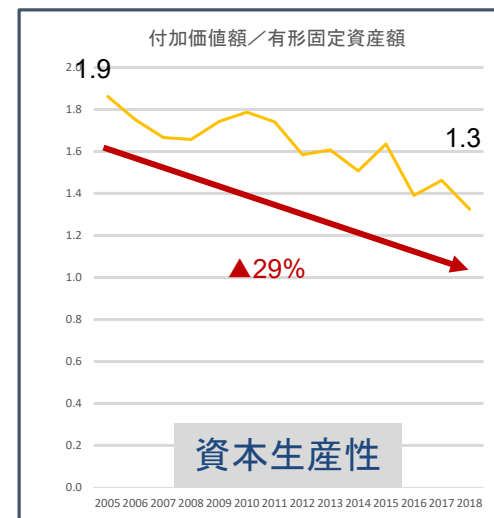
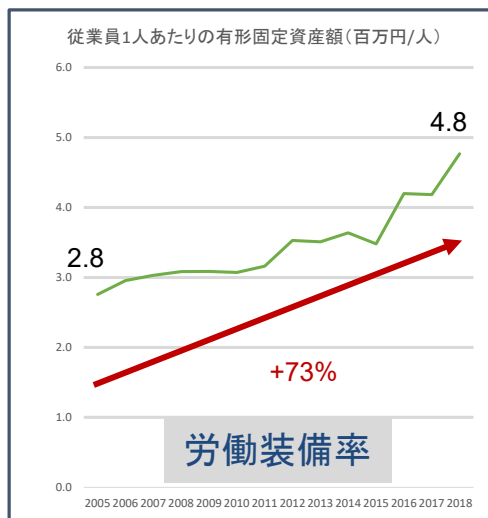
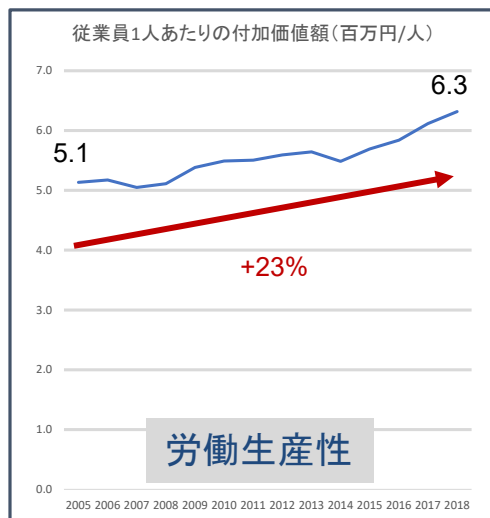
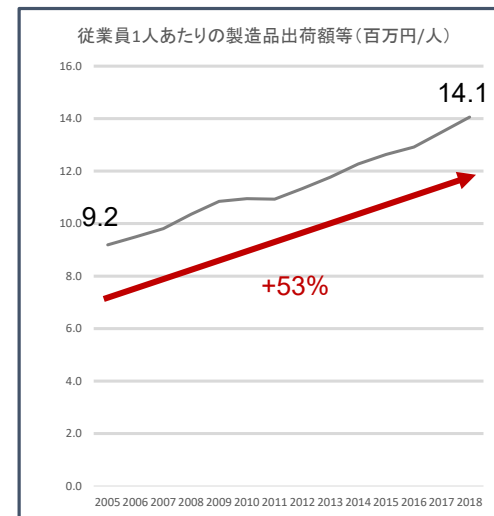
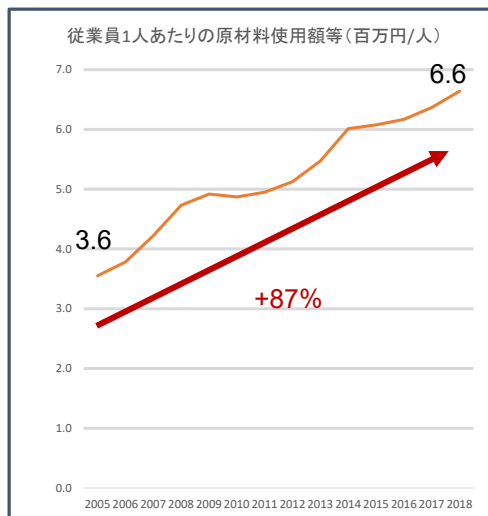
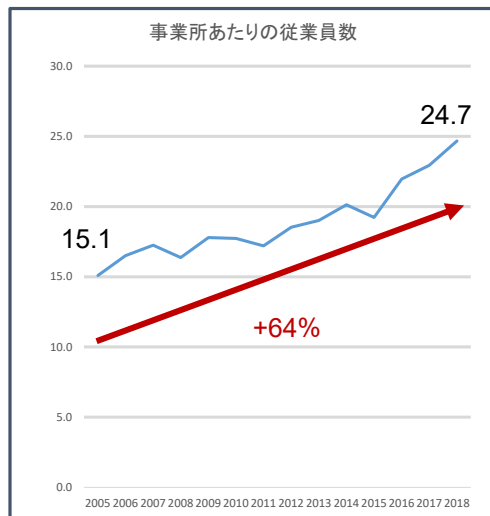
- 2005年～2018年の間に、めん類製造業では集約化が進み、労働生産性は10%増、労働装備率は27%増だが、資本生産性は14%減で、設備投資による付加価値創出効果が表れていない



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 豆腐・油揚げ製造業

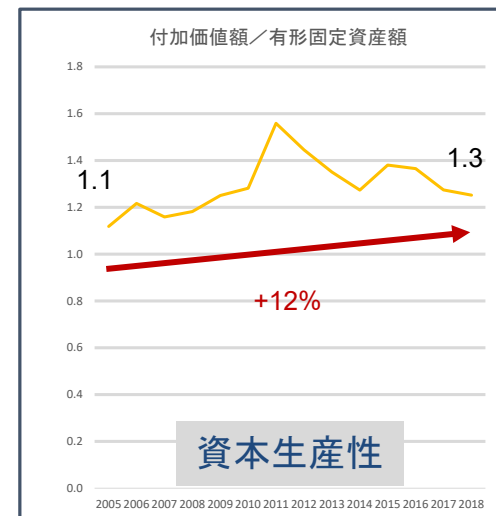
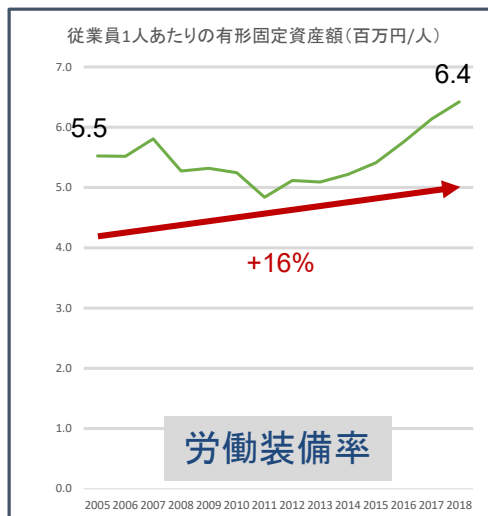
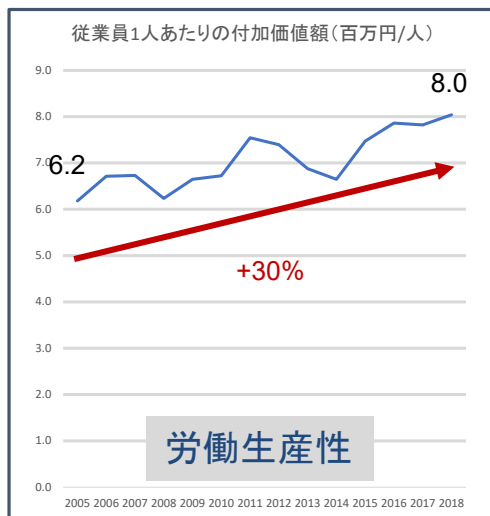
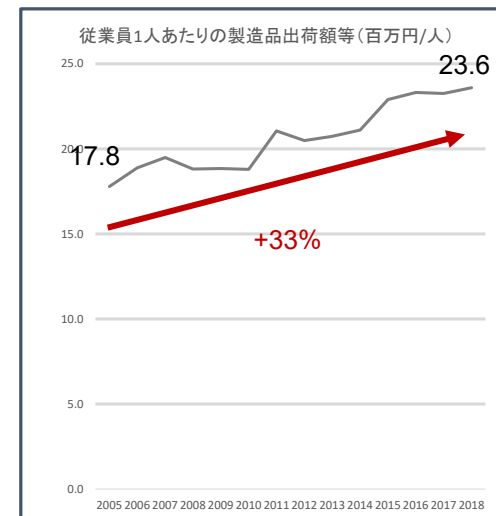
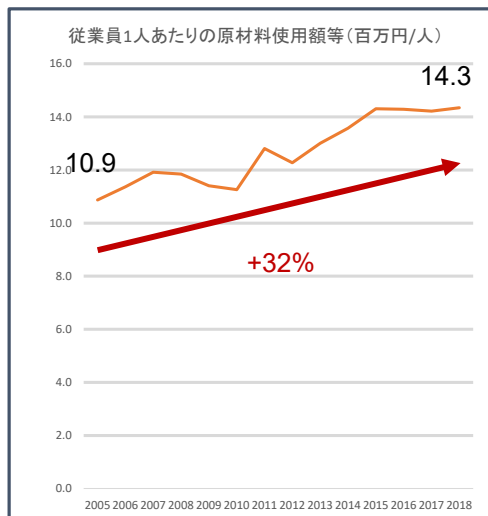
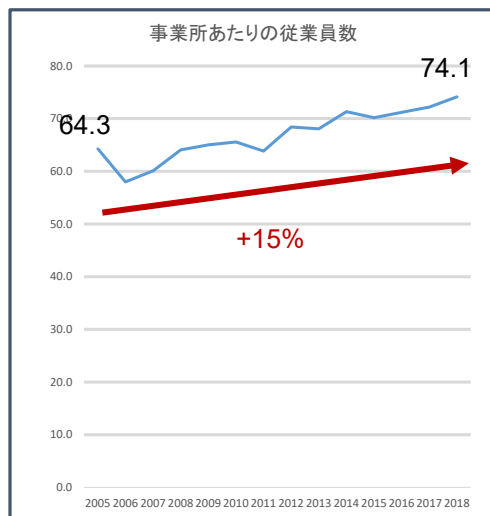
- 2005年～2018年の間に、豆腐・油揚げ製造業では集約化が進み、労働生産性は23%増、労働装備率は73%増だが、資本生産性は29%減で、設備投資による付加価値創出効果が表れていない



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 冷凍調理食品製造業

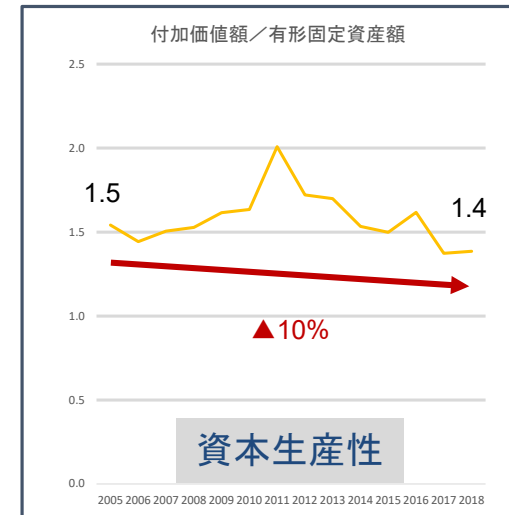
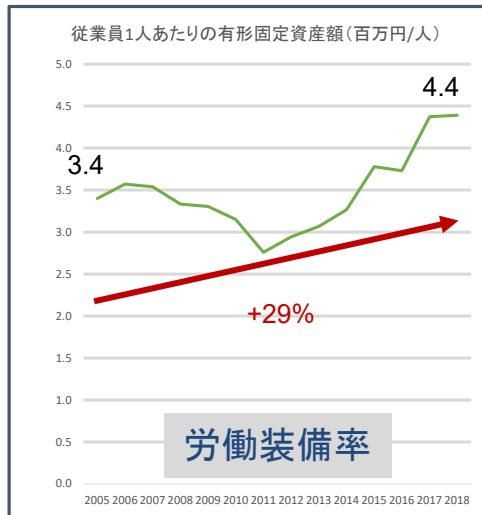
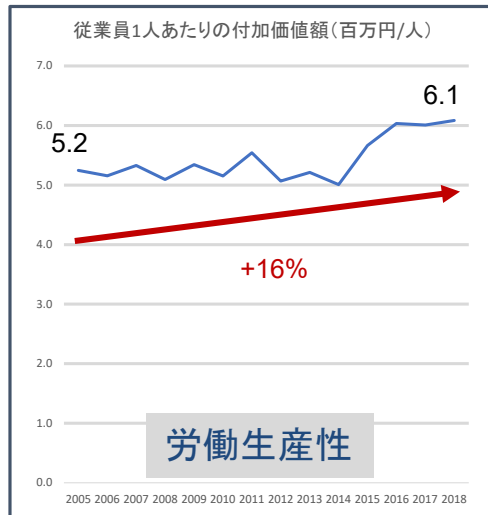
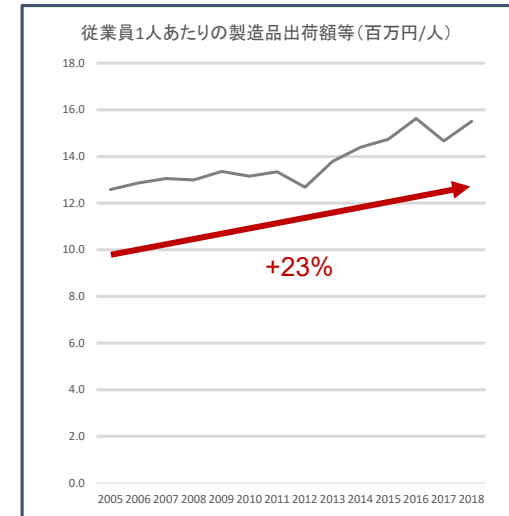
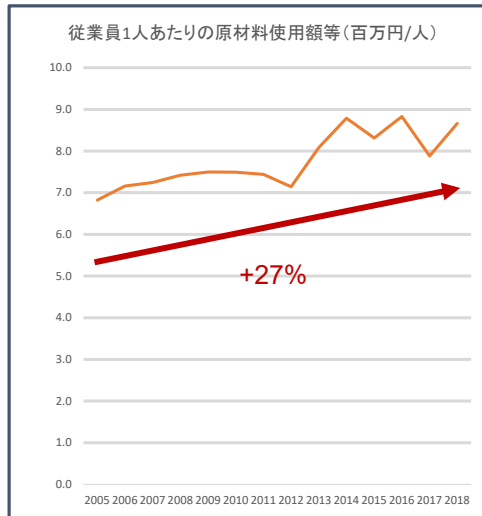
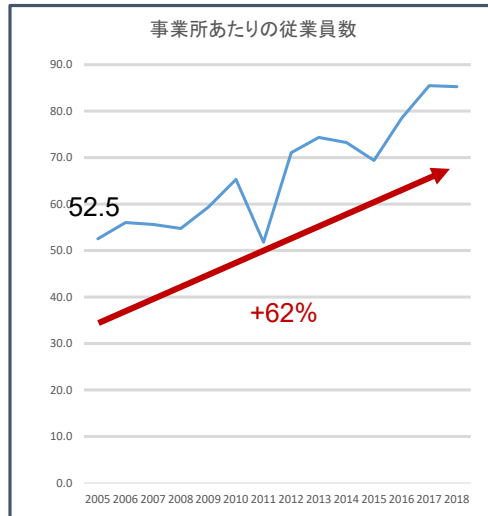
コメント



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 そう(惣)菜製造業

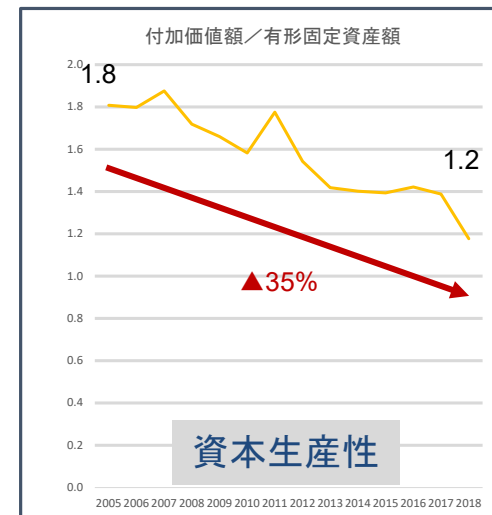
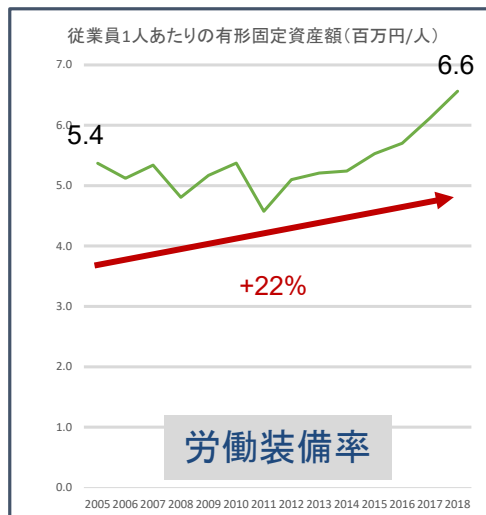
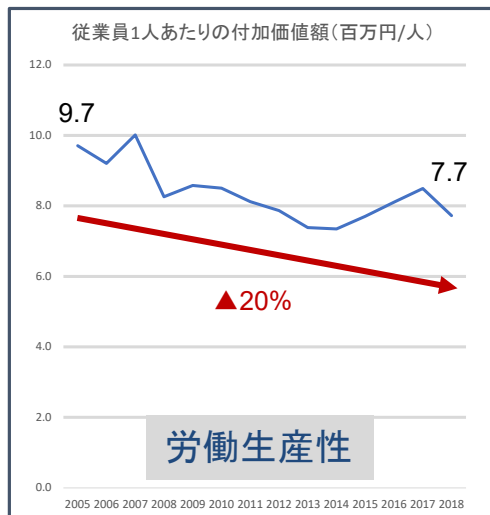
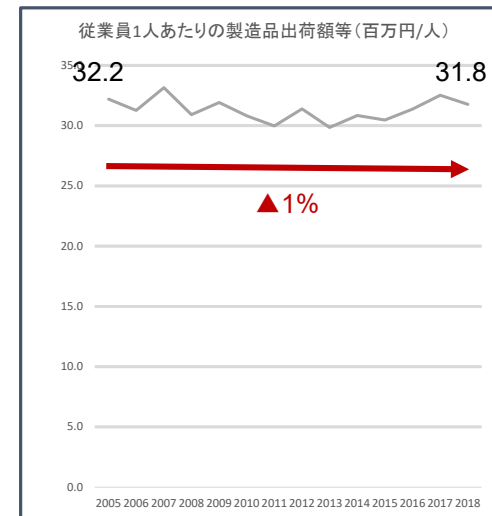
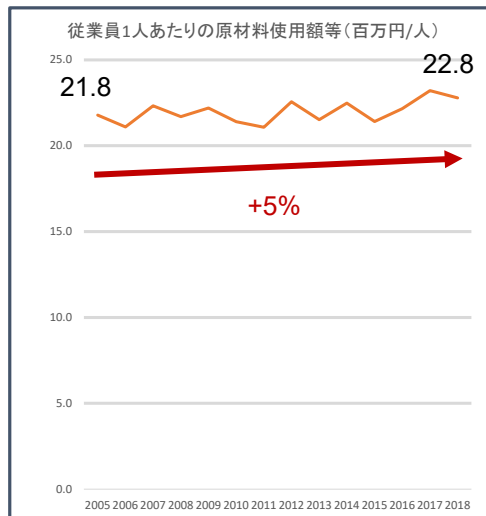
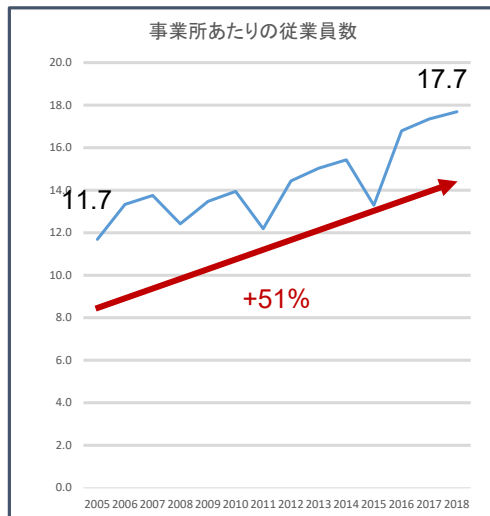
- 2005年～2018年の間に、そう菜製造業では集約化が進み、労働生産性は16%増、労働装備率は29%増だが、資本生産性は10%減で、設備投資による付加価値創出効果が表れていない



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 茶・コーヒー製造業

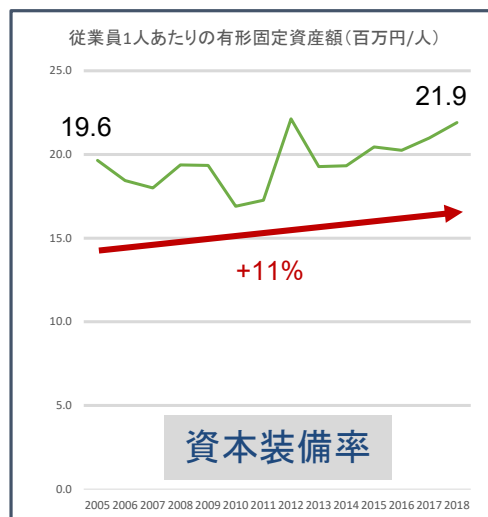
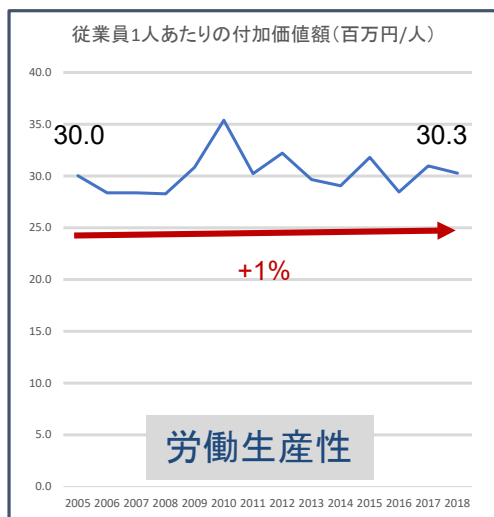
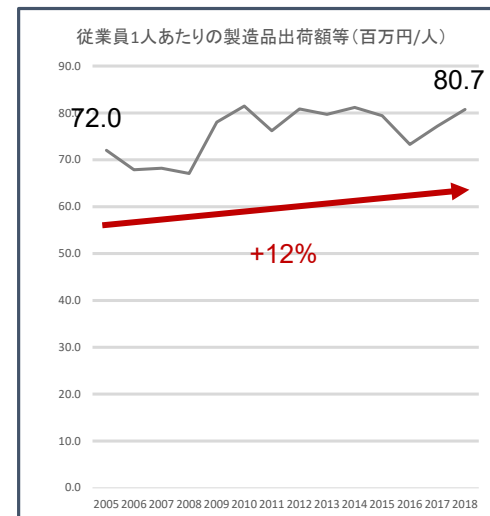
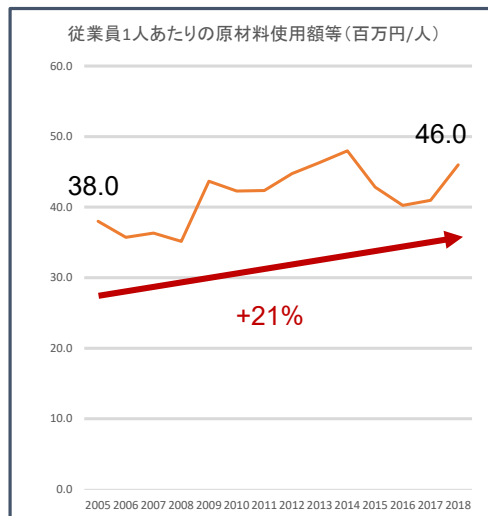
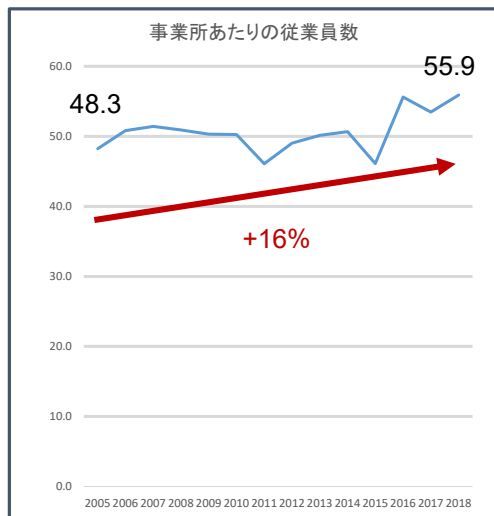
- 2005年～2018年の間に、茶・コーヒー製造業では集約化が進み、労働生産性は20%減、労働装備率は22%増だが、資本生産性は35%減で、労働生産性が悪化し、設備投資による付加価値創出効果も表れていない



資料:平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、みずほ情報総研作成

生産性 清涼飲料製造業

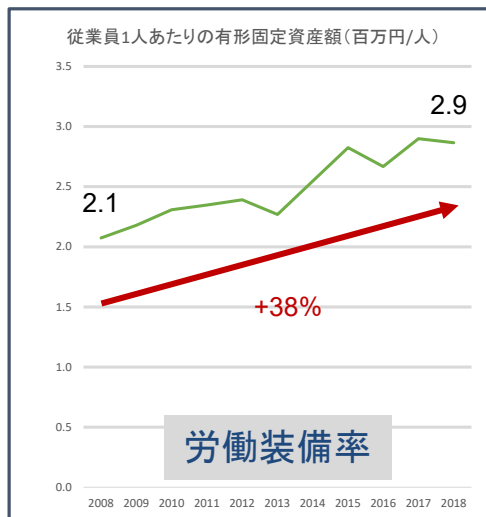
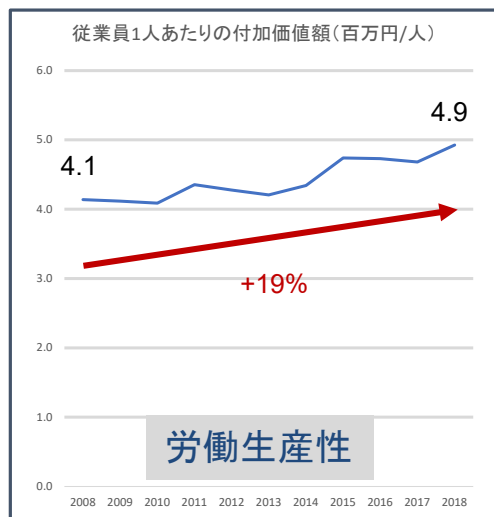
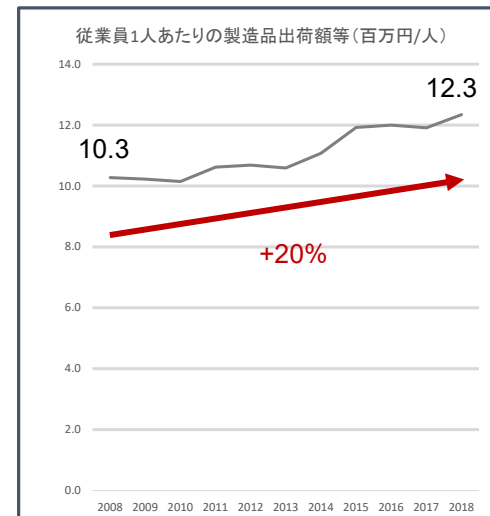
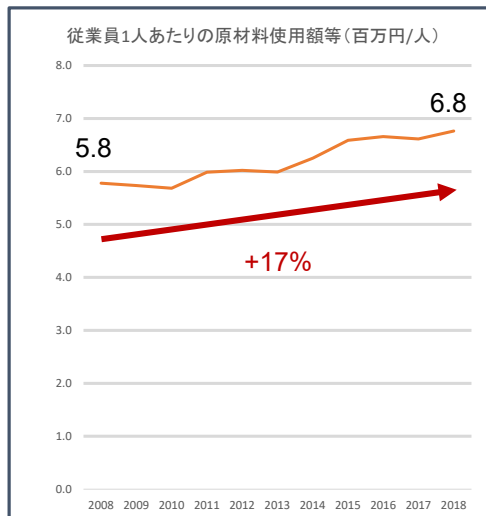
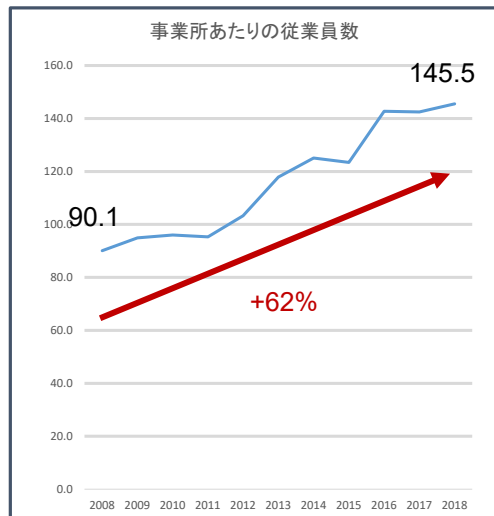
- 2005年～2018年の間に、清涼飲料製造業では大規模化が進み、労働生産性は1%増、労働装備率は11%増、資本生産性は10%減で、設備投資による付加価値創出効果はまだ表れていない



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 すし・弁当・調理パン製造業

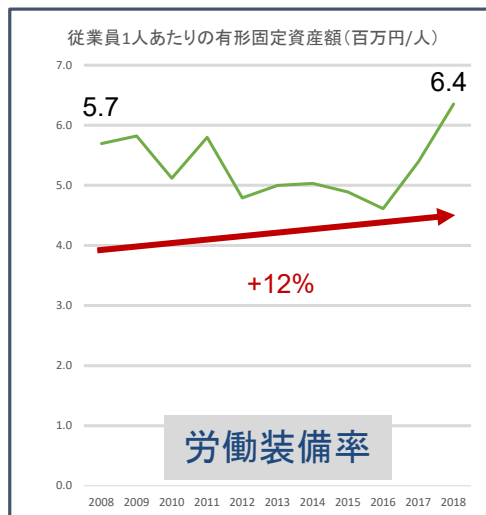
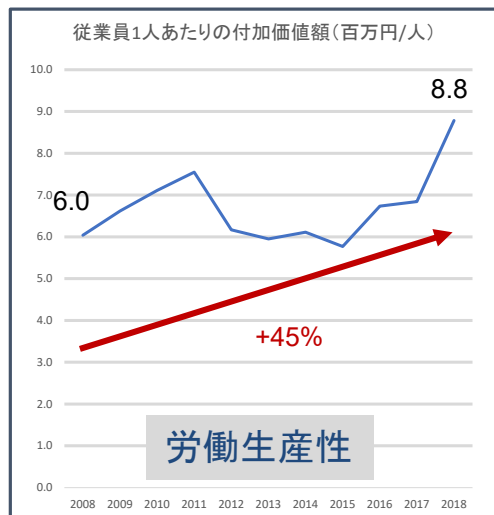
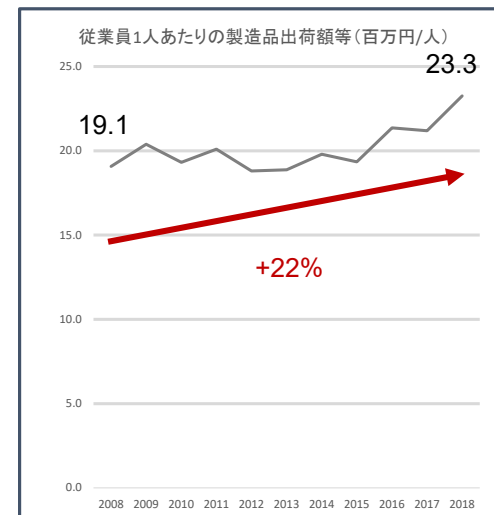
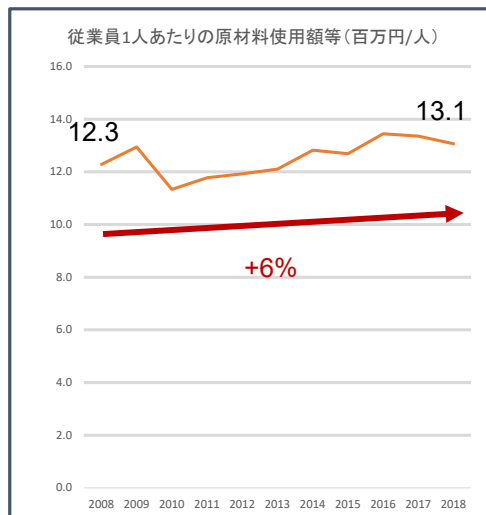
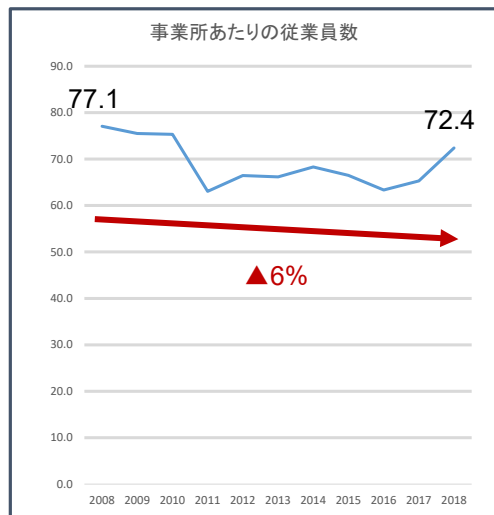
- 2005年～2018年の間に、すし・弁当・調理パン製造業では集約化が進み、労働生産性は19%増、労働装備率は38%増、資本生産性は14%減で、設備投資による付加価値創出効果はまだ表れていない



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成

生産性 レトルト食品製造業

- 2005年～2018年の間に、レトルト食品製造業の労働生産性は45%増、労働装備率は12%増、資本生産性は30%増と、労働生産性、資本生産性がともに向上している



資料: 平成26年工業統計表「産業編」データ (経済産業省大臣官房調査統計グループ) より、みずほ情報総研作成